

学類共通(専門基礎科目)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
AB50A11	哲学・宗教学入門	1	1.0	1	春BC	月1	西村 雄太, 津崎良典, 土井 裕人	哲学と宗教学の専門的な理解への導入として、必要な概念や方法について学ぶ。	専門導入科目(事前登録対象)。オンライン(オンデマンド型)。オンライン(同時双方向型)
AB50B11	史学入門	1	1.0	1	春BC	NT	岩田 啓介, 上田裕之, 柴田 大輔, 清水 克志, 田中友香理, 中西 僚太郎, 中野目 徹, 三谷 芳幸, 村上 宏昭	歴史学研究の基礎について講義する。	専門導入科目(事前登録対象)。オンライン(オンデマンド型)
AB50C11	考古学・民俗学入門	1	1.0	1	秋AB	NT	三宅 裕, 滝沢 誠, 谷口 陽子, 前田修, 板橋 悠, 中野 泰, 武井 基晃, 中村 友香	先史学・考古学・民俗学・文化人類学の基本的な考え方や基礎的な知識、研究の方法論を学ぶ。フィールドワークに基づいて生活文化の総体的理解を深め、物質文化資料や、人々の生活の観察・対話を通じて、過去と現在の人間社会の営みや多様性を考察する方法を身に付ける。	専門導入科目(事前登録対象)。オンライン(オンデマンド型)
AB50E11	言語分析入門	1	1.0	1	春BC	NT	高木 智世, 橋本修, 平井 明代	言語に関する基礎的な知識を身に付けるとともに、語彙、文法、意味、運用などについて言語学的に分析するというのはどのようなことなのかを知り、実際に言語分析を行うための基礎を養成する。日本語と英語を主な分析対象言語として取りあげる。	専門導入科目(事前登録対象)。オンライン(オンデマンド型)
AB50F11	個別言語学入門	1	1.0	1	秋AB	NT	住大 恭康, 菅野 倫匡, 山岡 翔	日本語、ドイツ語、ベトナム語などを例にして、個別言語分析の事例を紹介し、言語研究がどのようなものであるかを考える。	専門導入科目(事前登録対象)。オンライン(オンデマンド型)

哲学(専門基礎科目)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
AB60A11	哲学通論-a	1	1.0	1・2	春AB	火1	檜垣 良成	哲学するとはどういうことかを徹底的に体得してもらう(他専攻・他学類歓迎。ただし、電子シラバス熟読のこと)。	★2018年度以前入学者の人文・文化学群コアカリキュラム(人文学類生は学群コアカリキュラムとしては履修できない) オンライン(同時双方向型)
AB60A21	哲学通論-b	1	1.0	1・2	秋AB	火1	檜垣 良成	引き続き哲学するとはどういうことかを徹底的に体得してもらう(他専攻・他学類歓迎。ただし、電子シラバス熟読のこと)。	オンライン(同時双方向型)
AB60B11	倫理学通論-a	1	1.0	1・2	春AB	木4	千葉 建	倫理学の基本的概念と方法について考察する。	対面 日本語での授業であり、それに対応可能な短期留学生は受け入れる
AB60B21	倫理学通論-b	1	1.0	1・2	秋AB	木4	千葉 建	引き続き倫理学の基本的概念と方法について考察する。	★2018年度以前入学者の人文・文化学群コアカリキュラム(人文学類生は学群コアカリキュラムとしては履修できない) 対面 日本語での授業であり、それに対応可能な短期留学生は受け入れる
AB60C11	宗教学通論-a	1	1.0	1・2	春AB	金3	保呂 篤彦	世界の諸宗教伝統や現代世界における宗教をめぐる諸問題に関する基本的な情報を提供するとともに、宗教研究(広義の宗教学)の諸相を概説する。	★2018年度以前入学者の人文・文化学群コアカリキュラム(人文学類生は学群コアカリキュラムとしては履修できない) 対面
AB60C21	宗教学通論-b	1	1.0	1・2	秋AB	金3	保呂 篤彦	世界の諸宗教伝統や現代世界における宗教をめぐる諸問題に関する基本的な情報を提供するとともに、宗教研究(広義の宗教学)の諸相を概説する。	対面
AB60G11	東洋思想-a	1	1.0	1・2	春AB	木6	志田 泰盛	インドの古代の思想史を概観し、日本やアジア文化圏全般に深い影響を与えたインド思想、インド仏教思想に関する基礎知識を習得する。	対面
AB60G21	東洋思想-b	1	1.0	1・2	秋AB	木6	志田 泰盛	春学期に続いて、インドの古代の思想史を概観し、日本やアジア文化圏全般に深い影響を与えたインド思想、インド仏教思想に関する基礎知識を習得する。	対面

哲学(哲学・倫理学)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
AB61A11	哲学特講I-a	1	1.0	2-4	春AB	月4	津崎 良典	デカルト『精神指導の規則』について講ずる。	対面(オンライン併用型)
AB61A21	哲学特講I-b	1	1.0	2-4	秋AB	月4	津崎 良典	デカルト『精神指導の規則』について講ずる(承前)。	対面(オンライン併用型)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	担当教員	授業概要	備考
AB61A31	哲学特講II-a	1	1.0	2 - 4				デカルト哲学について講ずる。	西暦偶数年度開講。 2025年度開講せず。 対面(オンライン併用型)
AB61A41	哲学特講II-b	1	1.0	2 - 4				デカルト哲学について講ずる(承前)。	西暦偶数年度開講。 2025年度開講せず。 対面(オンライン併用型)
AB61A51	哲学特講III-a	1	1.0	2 - 4	春C	火1,2	檜垣 良成	現代日本における哲学の危機について、〈哲学対話〉を深める(他専攻・他学類歓迎。ただし電子シラバス熟読のこと。受講条件あり)。	対面(オンライン併用型)
AB61A61	哲学特講III-b	1	1.0	2 - 4	秋C	火1,2	檜垣 良成	現代日本における哲学の危機について、〈哲学対話〉をさらに深める(他専攻・他学類歓迎。ただし電子シラバスを熟読のこと。受講制限あり)。	対面(オンライン併用型)
AB61A71	哲学特講IV-a	1	1.0	2 - 4	春AB	火4	西村 雄太	中世キリスト教における人間理解について学ぶ。	対面
AB61A81	哲学特講IV-b	1	1.0	2 - 4	秋AB	火4	西村 雄太	中世キリスト教における人間理解についてより深く学ぶ。	対面
AB61C11	哲学史I-a	1	1.0	2 - 4	春AB	水3	津崎 良典	西洋近世哲学史を概観する(16世紀後半から17世紀初頭までのフランス哲学に傾注する)。	西暦奇数年度開講。 対面(オンライン併用型)
AB61C21	哲学史I-b	1	1.0	2 - 4	秋AB	水3	津崎 良典	西洋近世哲学史を概観する(17世紀のフランス哲学に傾注する)。	西暦奇数年度開講。 対面(オンライン併用型)
AB61C31	哲学史II-a	1	1.0	2 - 4				西洋近代哲学史を概観する(18世紀のフランス哲学に傾注する)。	西暦偶数年度開講。 2025年度開講せず。 対面(オンライン併用型)
AB61C41	哲学史II-b	1	1.0	2 - 4				西洋近代哲学史を概観する(19世紀から20世紀初頭までのフランス哲学に傾注する)。	西暦偶数年度開講。 2025年度開講せず。 対面(オンライン併用型)
AB61C51	哲学史III-a	1	1.0	2 - 4	春AB	火3	檜垣 良成	西洋哲学史上の諸問題をテキストに即して極める(他専攻・他学類歓迎。ただし電子シラバス熟読のこと)。	対面(オンライン併用型)
AB61C61	哲学史III-b	1	1.0	2 - 4	秋AB	火3	檜垣 良成	西洋哲学史上の諸問題を引き続きテキストに即して極める(他専攻・他学類歓迎。ただし電子シラバス熟読のこと)。	対面(オンライン併用型)
AB61C71	哲学史IV-a	1	1.0	2 - 4	春AB	月3	西村 雄太	西洋中世哲学史の概略を学ぶ。	対面
AB61C81	哲学史IV-b	1	1.0	2 - 4	秋AB	月3	西村 雄太	西洋中世哲学史をより深く学ぶ。	対面
AB61G12	哲学演習I-a	2	1.0	2 - 4	春AB	月6	津崎 良典	デカルト『精神指導の規則』をラテン語原文で講読する(仏訳または英訳による参加も可能)。	2025年度より2年おきに開講。 対面(オンライン併用型)
AB61G22	哲学演習I-b	2	1.0	2 - 4	秋AB	月6	津崎 良典	デカルト『精神指導の規則』をラテン語原文で講読する(承前; 仏訳または英訳による参加も可能)。	2025年度より2年おきに開講。 対面(オンライン併用型)
AB61G32	哲学演習II-a	2	1.0	2 - 4				近世ヨーロッパの哲学的著作をフランス語による原文で講読する(フランス語既習者対象)。	2023年度より2年おきに開講。 対面(オンライン併用型)
AB61G42	哲学演習II-b	2	1.0	2 - 4				近世ヨーロッパの哲学的著作をフランス語による原文で講読する(承前; フランス語既習者対象)。	2023年度より2年おきに開講。 対面(オンライン併用型)
AB61G52	哲学演習III-a	2	1.0	2 - 4				近世ヨーロッパの哲学的著作をフランス語による原文で講読する(フランス語既習者対象)。	2024年度より2年おきに開講。 対面(オンライン併用型)
AB61G62	哲学演習III-b	2	1.0	2 - 4				近世ヨーロッパの哲学的著作をフランス語による原文で講読する(フランス語既習者対象)。	2024年度より2年おきに開講。 対面(オンライン併用型)
AB61G72	哲学演習IV-a	2	1.0	2 - 4				西洋中世哲学の文献を読む。	2024年度より2年おきに開講。 2025年度開講せず。 対面
AB61G82	哲学演習IV-b	2	1.0	2 - 4				西洋中世哲学の文献をラテン語で読む。	2024年度より2年おきに開講。 2025年度開講せず。 対面
AB61H12	哲学演習V-a	2	1.0	2 - 4	春AB	月5	西村 雄太	西洋中世哲学の文献を英語訳で読む。	対面
AB61H22	哲学演習V-b	2	1.0	2 - 4	秋AB	月5	西村 雄太	西洋中世哲学の文献をラテン語原文で読む。	対面
AB61H32	哲学演習VI-a	2	1.0	2 - 4				中世哲学の文献を読むためにラテン語の基礎を学ぶ	2023年度より3年おきに開講。 対面
AB61H42	哲学演習VI-b	2	1.0	2 - 4				中世哲学の文献を読みながらラテン語を学ぶ	2023年度より3年おきに開講。 対面
AB61J12	哲学史演習I-a	2	1.0	2 - 4	春C	月4,5	小石川 和永	本授業ではハンナ・アーレントの主著の一つである『人間の条件』(1958)より、アーレントの政治理解の根幹を成す「活動」の概念についての精読を行う。	対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	担当教員	授業概要	備考
AB61J22	哲学史演習I-b	2	1.0	2-4	秋C	月4,5	小石川 和永	本授業ではハンナ・アーレントの著書の一つである『人間の条件』(1958)より、アーレントの政治理解の根幹を成す「活動」の概念についての精読を引き続き行う。	対面
AB61J32	哲学史演習II-a	2	1.0	2-4				アーレントは『人間の条件』において人間の活動力を三つ区分して論じている。すなわち、「労働」、「製作」、「活動」である。本授業はアーレントの『人間の条件』の製作概念に関連する部分の精読を通じ、アーレントが提示する問題の所在を理解する。	西暦偶数年度開講。 対面(オンライン併用型)
AB61J42	哲学史演習II-b	2	1.0	2-4				アーレントは『人間の条件』において人間の活動力を三つ区分して論じている。すなわち、「労働」、「製作」、「活動」である。本授業はアーレントの『人間の条件』の製作概念に関連する部分の精読を通じ、引き続きアーレントが提示する問題の所在を理解する。	西暦偶数年度開講。 対面(オンライン併用型)
AB62A11	倫理学特講I-a	1	1.0	2-4	春AB	金5	千葉 建	倫理学の重要文献を取り上げ、学生のレジュメを基に、ディスカッションを通じて、倫理学の根本問題を考える。	西暦奇数年度開講。 対面
AB62A21	倫理学特講I-b	1	1.0	2-4	秋AB	金5	千葉 建	倫理学の重要文献を取り上げ、学生のレジュメを基に、ディスカッションを通じて、倫理学の根本問題を考える。	西暦奇数年度開講。 対面
AB62A31	倫理学特講II-a	1	1.0	2-4				倫理学の重要文献を取り上げ、学生のレジュメを基に、ディスカッションを通じて、倫理学の根本問題を考える。	西暦偶数年度開講。 対面
AB62A41	倫理学特講II-b	1	1.0	2-4				倫理学の重要文献を取り上げ、学生のレジュメを基に、ディスカッションを通じて、倫理学の根本問題をさらに考える。	西暦偶数年度開講。 対面
AB62A51	倫理学特講III-a	1	1.0	2-4	春AB	木4	常 瀨 琳	近代日本倫理思想史上の根本的な問題を取り上げ、通史的にその帰趨を概観する。	西暦奇数年度開講。 対面
AB62A61	倫理学特講III-b	1	1.0	2-4	秋AB	木4	常 瀨 琳	近代日本倫理思想史上の根本的な問題を取り上げ、通史的にその帰趨を概観する。	西暦奇数年度開講。 対面
AB62A71	倫理学特講IV-a	1	1.0	2-4				近代日本倫理思想史上の根本的な問題を取り上げ、通史的にその帰趨を概観する。	西暦偶数年度開講。 対面
AB62A81	倫理学特講IV-b	1	1.0	2-4				近代日本倫理思想史上の根本的な問題を取り上げ、通史的にその帰趨を概観する。	西暦偶数年度開講。 対面
AB62C11	倫理思想史I-a	1	1.0	2-4	春AB	金3	千葉 建	西洋倫理思想史をテキストに即して考察する。	西暦奇数年度開講。 対面
AB62C21	倫理思想史I-b	1	1.0	2-4	秋AB	金3	千葉 建	引き続き西洋倫理思想史をテキストに即して考察する。	西暦奇数年度開講。 対面
AB62C31	倫理思想史II-a	1	1.0	2-4				西洋倫理思想史をテキストに即して考察する。	西暦偶数年度開講。 対面
AB62C41	倫理思想史II-b	1	1.0	2-4				引き続き西洋倫理思想史をテキストに即して考察する。	西暦偶数年度開講。 対面
AB62C51	倫理思想史III-a	1	1.0	2-4	春AB	火2	檜垣 良成	カントのテキストを丁寧に読みながら、倫理学史を考える(初学者から。他専攻・他学類歓迎。ただし実質演習です)。	西暦奇数年度開講。 対面(オンライン併用型)
AB62C61	倫理思想史III-b	1	1.0	2-4	秋AB	火2	檜垣 良成	引き続きカントのテキストを丁寧に読みながら、倫理学史を考える(初学者から。他専攻・他学類歓迎。ただし、実質演習です)。	西暦奇数年度開講。 対面(オンライン併用型)
AB62C71	倫理思想史IV-a	1	1.0	2-4				倫理思想史について考察する。	西暦偶数年度開講。 対面
AB62C81	倫理思想史IV-b	1	1.0	2-4				日本近世～近代の倫理思想史を通観する。	西暦偶数年度開講。 対面
AB62E11	倫理思想史V-a	1	1.0	2-4	春AB	金4	牧野 静	本講義では日本近代の倫理思想史について考察する。	対面
AB62E21	倫理思想史V-b	1	1.0	2-4				本講義では日本近代の倫理思想史について考察する。	2025年度開講せず。 対面
AB62G12	倫理学演習I-a	2	1.0	2-4				西洋近現代倫理学の代表的な文献を原典講読する。	2024年度より2年おきに開講。 対面
AB62G22	倫理学演習I-b	2	1.0	2-4				引き続き西洋近現代倫理学の代表的な文献を原典講読する。	2024年度より2年おきに開講。 対面
AB62G32	倫理学演習II-a	2	1.0	2-4	春AB	木3	千葉 建	西洋近現代倫理学の代表的な文献を原典講読する。	2025年度より2年おきに開講。 対面
AB62G42	倫理学演習II-b	2	1.0	2-4	秋AB	木3	千葉 建	引き続き西洋近現代倫理学の代表的な文献を原典講読する。	2025年度より2年おきに開講。 対面
AB62G52	倫理学演習III-a	2	1.0	2-4				西洋近現代倫理学の代表的な文献を原典講読する。	2023年度より2年おきに開講。 対面
AB62G62	倫理学演習III-b	2	1.0	2-4				引き続き西洋近現代倫理学の代表的な文献を原典講読する。	2023年度より2年おきに開講。 対面
AB62G72	倫理学演習IV-a	2	1.0	2-4				近代日本倫理思想史上で重要な古典文献を原典で講読する。	2024年度より2年おきに開講。 対面
AB62G82	倫理学演習IV-b	2	1.0	2-4				近代日本倫理思想史上で重要な古典文献を原典で講読する。	2024年度より2年おきに開講。 対面
AB62H12	倫理学演習V-a	2	1.0	2-4	春AB	木5	常 瀨 琳	近代日本倫理思想史上で重要な古典文献を原典で講読する。	2025年度より2年おきに開講。 対面
AB62H22	倫理学演習V-b	2	1.0	2-4	秋AB	木5	常 瀨 琳	近代日本倫理思想史上で重要な古典文献を原典で講読する。	2025年度より2年おきに開講。 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	担当教員	授業概要	備考
AB62H32	倫理学演習VI-a	2	1.0	2-4				カントのテキストを丁寧に読んで現代の哲学的諸問題と対決する(初学者から。他専攻・他学類歓迎)。	2025年度開講せず。 対面(オンライン併用型)
AB62H42	倫理学演習VI-b	2	1.0	2-4				カントのテキストを引き続き丁寧に読んで現代の哲学的諸問題と対決する(初学者から。他専攻・他学類歓迎)。	2025年度開講せず。 対面(オンライン併用型)
AB62J12	倫理思想史演習I-a	2	1.0	2-4				本演習では、日本の近代の思想を扱う主要な論文集を扱う。あらかじめ担当箇所を定め、各回の担当者が作成した資料をもとに、全員で議論する。学術的な文章を読む訓練をし、論文を読む力をつけることを目標とする。	2025年度開講せず。 対面
AB62J22	倫理思想史演習I-b	2	1.0	2-4	秋AB	金4	牧野 静	引き続き本演習では、日本の近代の思想を扱う主要な論文集を扱う。あらかじめ担当箇所を定め、各回の担当者が作成した資料をもとに、全員で議論する。学術的な文章を読む訓練をし、論文を読む力をつけることを目標とする。	対面
AB62K12	哲学・倫理学研究-a	2	2.0	4	春ABC	随時	檜垣 良成, 津崎 良典, 西村 雄太, 千葉 建, 常 瀨 琳	哲学・倫理学に関する卒業論文の指導を行う。	
AB62K22	哲学・倫理学研究-b	2	2.0	4	秋ABC	随時	檜垣 良成, 津崎 良典, 西村 雄太, 千葉 建, 常 瀨 琳	哲学・倫理学に関する卒業論文の指導を行う。	対面
AB62K38	卒業論文(哲学・倫理学)	8	6.0	4	秋ABC	随時	檜垣 良成, 津崎 良典, 西村 雄太, 千葉 建, 常 瀨 琳	哲学・倫理学に関する卒業論文。	

哲学(宗教学)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	担当教員	授業概要	備考
AB63A11	宗教学-a	1	1.0	2・3				宗教をはじめとする基本概念の成立を検討したうえで、代表的な学説をたどることによって宗教学の方法論への理解を深める。電子シラバスを一読のこと。(他専攻・他学類歓迎)	西暦偶数年度開講。 2025年度開講せず。 対面(オンライン併用型)
AB63A21	宗教学-b	1	1.0	2・3				宗教をはじめとする基本概念の成立を検討したうえで、代表的な学説をたどることによって宗教学の方法論への理解を深める。電子シラバスを一読のこと。(他専攻・他学類歓迎)	西暦偶数年度開講。 2025年度開講せず。 対面(オンライン併用型)
AB63A31	宗教哲学-a	1	1.0	2-4				主に講義形式で、多様な宗教哲学のあり方と可能性、宗教研究における宗教哲学の位置等について考察するとともに、いくつかのタイプの古典的な宗教哲学(狭義の)を紹介する。	西暦偶数年度開講。 2025年度開講せず。 対面
AB63A41	宗教哲学-b	1	1.0	2-4				主に講義形式で、科学的宗教理解(研究)、形而上学、キリスト教神学などと宗教哲学との関わり、現代における宗教哲学の主要なテーマと諸潮流のいくつかについて概説する。	西暦偶数年度開講。 2025年度開講せず。 対面
AB63A71	比較思想論-a	1	1.0	2-4	春C夏季休業中	集中		インドの哲学・宗教思想を、西洋・中国・日本等、他の文化圏の哲学・宗教思想とテーマ別に比較しながら論じる。	対面
AB63A81	比較思想論-b	1	1.0	2-4	秋AB	水4		インドの哲学・宗教思想を、西洋・中国・日本等、他の文化圏の哲学・宗教思想とテーマ別に比較しながら論じる。	対面
AB63B11	東洋宗教思想史-a	1	1.0	2-4				東洋の宗教思想について、インドの古典を中心に概観する。	西暦偶数年度開講。 2025年度開講せず。 対面(オンライン併用型)
AB63B21	東洋宗教思想史-b	1	1.0	2-4				引き続き、東洋の宗教思想について、インドの古典を中心に概観する。	西暦偶数年度開講。 2025年度開講せず。 対面(オンライン併用型)
AB63B31	西洋宗教思想史-a	1	1.0	2-4	春AB	金5	土井 裕人	明治期以降の日本の学者が西洋の宗教思想(特に神秘主義)をどのように解釈したかを通じて、宗教の「本質」がいかに捉えられるかを検討する。詳細はシラバスを必ず参照すること。	西暦奇数年度開講。 対面(オンライン併用型)
AB63B41	西洋宗教思想史-b	1	1.0	2-4	秋AB	金5	土井 裕人	明治期以降の日本の学者が西洋の宗教思想(特に神秘主義)をどのように解釈したかを通じて、宗教の「本質」がいかに捉えられるかを検討する。詳細はシラバスを必ず参照すること。	西暦奇数年度開講。 対面(オンライン併用型)
AB63C11	宗教学特講-I	1	1.0	2-4	秋C春季休業中	集中		宗教学における重要なトピックを特に取り上げて考察する。	対面(オンライン併用型)
AB63C51	宗教学特講-III	1	1.0	2-4				宗教学における重要なトピックを特に取り上げて考察する。	2025年度開講せず。 対面(オンライン併用型)
AB63E12	宗教学演習I-a	2	1.0	2-4	春AB	月4	保呂 篤彦	一つないしいくつかのトピックについて、近代ないし現代の宗教学・宗教哲学に関するテキストを講読し、その内容について議論を行う。	対面
AB63E22	宗教学演習I-b	2	1.0	2-4	秋AB	月4	保呂 篤彦	一つないしいくつかのトピックについて、近代ないし現代の宗教学・宗教哲学に関するテキストを講読し、その内容について議論を行う。	対面
AB63E32	宗教学演習I-c	2	1.0	2-4	春C	月4,5	保呂 篤彦	一つないしいくつかのトピックについて、近代ないし現代の宗教学・宗教哲学に関するテキストを講読し、その内容について議論を行う。	「宗教学演習Ia(または-a)」および「宗教学演習Ib(または-b)」を履修済あるいは履修中の者に限る。 対面
AB63E52	宗教学演習II-a	2	1.0	2-4	春AB	火6	土井 裕人	宗教学コースにおける、主として西洋宗教を扱う学生の卒業論文執筆に向けたプレゼンテーション演習。	対面(オンライン併用型)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	担当教員	授業概要	備考
AB63E62	宗教学演習II-b	2	1.0	2-4	秋AB	火6	土井 裕人	宗教学コースにおける、主として西洋宗教を扱う学生の卒業論文執筆に向けたプレゼンテーション演習。	対面(オンライン併用型)
AB63E72	宗教学演習II-c	2	1.0	2-4	春C夏季休業中 秋C春季休業中	集中	土井 裕人	宗教学コースにおける、主として西洋宗教を扱う学生の卒業論文執筆に向けたプレゼンテーション演習。	対面(オンライン併用型)
AB63F12	宗教学演習III-a	2	1.0	2-4				サンスクリットの原典講読。初等文法の修了者を対象とする。講読するテキストについては出席者の希望を勘案して決める。シラバスを参照のこと。	2025年度開講せず。 対面(オンライン併用型)
AB63F22	宗教学演習III-b	2	1.0	2-4				サンスクリットの原典講読。初等文法の修了者を対象とする。講読するテキストについては出席者の希望を勘案して決める。シラバスを参照のこと。	2025年度開講せず。 対面(オンライン併用型)
AB63F32	宗教学演習III-c	2	1.0	2-4				サンスクリットの原典講読。初等文法の修了者を対象とする。講読するテキストについては出席者の希望を勘案して決める。シラバスを参照のこと。	「宗教学演習IIIa(または-a)」および「宗教学演習IIIb(または-b)」を履修済あるいは履修中の者に限る。 2025年度開講せず。 対面(オンライン併用型)
AB63F52	宗教学演習IV-a	2	1.0	2-4				宇宙・世界の構造と宗教思想というテーマを中心に、創造や制作といった観点から文献を精読する。演習で扱った内容は、各自の問題意識に応じていろいろな場でアウトプットされることが望ましい。電子シラバスを一読のこと。(他専攻・他学類歓迎)	2025年度開講せず。 対面(オンライン併用型)
AB63F62	宗教学演習IV-b	2	1.0	2-4				宇宙・世界の構造と宗教思想というテーマを中心に、創造や制作といった観点から文献を精読する。演習で扱った内容は、各自の問題意識に応じていろいろな場でアウトプットされることが望ましい。電子シラバスを一読のこと。(他専攻・他学類歓迎)	2025年度開講せず。 対面(オンライン併用型)
AB63F72	宗教学演習IV-c	2	1.0	2-4				宇宙・世界の構造と宗教思想というテーマを中心に、創造や制作といった観点から文献を精読する。演習で扱った内容は、各自の問題意識に応じていろいろな場でアウトプットされることが望ましい。電子シラバスを一読のこと。(他専攻・他学類歓迎)	「宗教学演習IV-a」および「宗教学演習IV-b」を履修済あるいは履修予定の者に限る。 2025年度開講せず。 対面(オンライン併用型)
AB63G12	東洋宗教思想史演習I-a	2	1.0	2-4	春AB	水5		漢文またはサンスクリットで文献を講読し、アジアの諸文化の一源流であるインドの文化・宗教思想を知る礎とする。	対面
AB63G22	東洋宗教思想史演習I-b	2	1.0	2-4	秋AB	水5		漢文またはサンスクリットで文献を講読し、アジアの諸文化の一源流であるインドの文化・宗教思想を知る礎とする。	対面
AB63G52	東洋宗教思想史演習II-a	2	1.0	2-4	春AB	金4	志田 泰盛	宗教学コースにおける、主として東洋宗教を扱う学生の卒業論文執筆に向けたプレゼンテーション演習。	対面(オンライン併用型)
AB63G62	東洋宗教思想史演習II-b	2	1.0	2-4	秋AB	金4	志田 泰盛	宗教学コースにおける、主として東洋宗教を扱う学生の卒業論文執筆に向けたプレゼンテーション演習。	対面(オンライン併用型)
AB63G72	東洋宗教思想史演習II-c	2	1.0	2-4	春C夏季休業中 秋C春季休業中	集中	志田 泰盛	宗教学コースにおける、主として東洋宗教を扱う学生の卒業論文執筆に向けたプレゼンテーション演習。	対面(オンライン併用型)
AB63H12	西洋宗教思想史演習-a	2	1.0	2-4	春AB	金6	土井 裕人	西洋古代の宗教思想を中心に、講読により検討する。	対面(オンライン併用型)
AB63H22	西洋宗教思想史演習-b	2	1.0	2-4	秋AB	金6	土井 裕人	西洋古代の宗教思想を中心に、講読により検討する。	対面(オンライン併用型)
AB63H32	西洋宗教思想史演習-c	2	1.0	2-4	春C夏季休業中 秋C春季休業中	集中	土井 裕人	西洋古代の宗教思想を中心に、講読により検討する。	「西洋宗教思想史演習-a」および「西洋宗教思想史演習-b」を履修済あるいは履修中の者に限る。 対面(オンライン併用型)
AB63H52	宗教哲学演習-a	2	1.0	2-4	春AB	火4	保呂 篤彦	宗教研究の方法論や宗教哲学に関係する基本的なテキストを講読しながら、その内容について議論する。	対面
AB63H62	宗教哲学演習-b	2	1.0	2-4	秋AB	火4	保呂 篤彦	宗教研究の方法論や宗教哲学に関係する基本的なテキストを講読しながら、その内容について議論する。	対面
AB63H72	宗教哲学演習-c	2	1.0	2-4	春C	火4,5	保呂 篤彦	宗教研究の方法論や宗教哲学に関係する基本的なテキストを講読しながら、その内容について議論する。	「宗教哲学演習a(または-a)」および「宗教哲学演習b(または-b)」を履修済あるいは履修中の者に限る。 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	担当教員	授業概要	備考
AB63J13	宗教学実習-A	3	1.0	2-4	秋BC 春季休業中	集中	土井 裕人	日本国内の宗教施設等を現地訪問して調査や対話を行うことにより、現場での体験から宗教を研究するために必要な素養を身につける。	人文学類哲学専攻（進級予定を含む）以外の学生は、必ず事前相談のこと。 西暦奇数年度開講。 対面（オンライン併用型） あくまで専門科目としての実習であり、見学旅行ではない。
AB63J23	宗教学実習-B	3	1.0	2-4				日本国内の宗教施設等を訪れ、宗教の現場に接する。	哲学専攻以外の学生は事前相談のこと。 西暦偶数年度開講。 2025年度開講せず。 対面（オンライン併用型）
AB63J51	人間社会と宗教	1	1.0	2-4	秋AB	月2	山中 弘	社会学の基礎理論について、人間の社会における宗教を手がかりに学ぶ。	原則として、人文・文化学群生に限る。 対面
AB63K12	宗教学研究-a	2	2.0	4	春ABC	随時	保呂 篤彦, 志田 泰盛, 土井 裕人	卒業論文執筆のための演習	対面（オンライン併用型） 詳細については、主査の教員からの指示に従うこと。
AB63K22	宗教学研究-b	2	2.0	4	秋ABC	随時	保呂 篤彦, 志田 泰盛, 土井 裕人	卒業論文執筆のための演習	対面（オンライン併用型） 詳細については、主査の教員からの指示に従うこと。
AB63K32	宗教学研究-b	2	2.0	4	春ABC	随時	保呂 篤彦, 志田 泰盛, 土井 裕人	卒業論文執筆のための演習	春学期末卒業予定者用。 対面（オンライン併用型） 前年度までに「宗教学研究-a」を修得済みの学生のみに限る。履修登録方法については別途周知予定。
AB63K38	卒業論文（宗教学）	8	6.0	4	秋ABC	随時	保呂 篤彦, 志田 泰盛, 土井 裕人	宗教学に関する卒業論文	対面（オンライン併用型）
AB63K48	卒業論文（宗教学）	8	6.0	4	春ABC	随時	保呂 篤彦, 志田 泰盛, 土井 裕人	宗教学に関する卒業論文	春学期末卒業予定者用。 対面（オンライン併用型） 履修登録方法については別途周知予定。

史学（専門基礎科目）

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	担当教員	授業概要	備考
AB70A11	日本史概説I-a	1	1.0	1-2	春AB	木5	三谷 芳幸	奈良時代の政治・社会を中心に、日本古代史の諸問題を概説する。	対面
AB70A21	日本史概説I-b	1	1.0	1-2	秋AB	木5	三谷 芳幸	平安時代の政治・社会を中心に、日本古代史の諸問題を概説する。	対面
AB70A31	日本史概説II-a	1	1.0	1-2	春AB	金3	中野目 徹	日本史の近代・現代史を思想の形成と流通という視点から概説する。	対面
AB70A41	日本史概説II-b	1	1.0	1-2	秋AB	金3	田中 友香理	日本史の近代・現代史を思想の構造と展開という視点から概説する。	対面
AB70B11	古代西アジア史概説-a	1	1.0	1-2	春AB	NT	柴田 大輔	楔形文字文化圏に重点を置き、紀元前三千年紀から二千年紀前半の古代西アジア史を講義する。	この科目は人文・文化学群人文学類の専門基礎科目であるため、受講希望者が多い場合には受講制限をかけ、人文・文化学群の学生、人文・文化学群に進学を希望する総合学域群の学生、並びに教職科目として受講する社会学類・地球学類の学生を優先する可能性がある。 オンライン（オンデマンド型）
AB70B21	古代西アジア史概説-b	1	1.0	1-2	秋AB	NT		楔形文字文化圏に重点を置き、紀元前二千年紀後半から一千年紀の古代西アジア史を講義する。	この科目は人文・文化学群人文学類の専門基礎科目であるため、受講希望者が多い場合には受講制限をかけ、人文・文化学群の学生、人文・文化学群に進学を希望する総合学域群の学生、並びに教職科目として受講する社会学類・地球学類の学生を優先する可能性がある。 オンライン（オンデマンド型）

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	担当教員	授業概要	備考	
AB70C11	中国史概説-a		1	1.0	1・2	春AB	木4	上田 裕之	「草原と中華の関係史」前編:農耕の始まりから12世紀まで。	★2018年度以前入学者の人文・文化学群コアカリキュラム(人文学類生は学群コアカリキュラムとしては履修できない)対面
AB70C21	中国史概説-b		1	1.0	1・2	秋AB	木4	上田 裕之	「草原と中華の関係史」後編:13世紀から現在まで。	対面
AB70E11	ヨーロッパ史概説-a		1	1.0	1・2	春AB	金6	村上 宏昭	中近世ヨーロッパの社会史について講義する。	150人を受講人数の上限とする。履修登録者多数の場合は、人文・文化学群と総合学域群の学生を優先したうえで抽選を実施する。オンライン(オンデマンド型)
AB70E21	ヨーロッパ史概説-b		1	1.0	1・2	秋AB	金6	村上 宏昭	近現代ヨーロッパの社会史について講義する。	150人を受講人数の上限とする。履修登録者多数の場合は、人文・文化学群と総合学域群の学生を優先したうえで抽選を実施する。オンライン(オンデマンド型)
AB70F11	歴史地理学概説-a		1	1.0	1・2	春AB	木3	中西 僚太郎	歴史地理学とはどのような学問であるかについて、主として人口・都市・交通をテーマとして取り上げ解説する。	対面
AB70F21	歴史地理学概説-b		1	1.0	1・2	秋AB	木3	清水 克志	歴史地理学とはどのような学問であるかについて、主として産業・宗教・文化をテーマとして取り上げ解説する。	対面

史学(日本史学)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	担当教員	授業概要	備考	
AB71A11	日本史史料学I-a		1	1.0	2・3			行政文書を中心に、古代史料の検討をおこなう。	西暦偶数年度開講。対面	
AB71A21	日本史史料学I-b		1	1.0	2・3			行政に関わる帳簿を中心に、古代史料の検討をおこなう。	西暦偶数年度開講。対面	
AB71A31	日本史史料学II-a		1	1.0	2・3	春AB	金4	田中 友香理		対面
AB71A41	日本史史料学II-b		1	1.0	2・3	秋AB	金4	田中 友香理	私文書を中心に近代史料の検討を行う。	対面
AB71A51	日本史史料学III-a		1	1.0	2・3			公文書を中心に近代史料の検討を行う。	西暦偶数年度開講。対面	
AB71A61	日本史史料学III-b		1	1.0	2・3			私文書を中心に近代史料の検討を行う。	西暦偶数年度開講。対面	
AB71B31	日本史特講II-a		1	1.0	2-4	春AB	木6	三谷 芳幸	「古代天皇制論を読む」というテーマで、戦後の代表的な古代天皇制論の著作を読み解いていく。	対面
AB71B41	日本史特講II-b		1	1.0	2-4	秋AB	木6	三谷 芳幸	「古代天皇制を考える」というテーマで、古代天皇制にかかわる諸問題について考察する。	対面
AB71B51	日本史特講III-a		1	1.0	2-4	春AB	金3	田中 友香理	明治期の思想家について論じる。	対面
AB71B61	日本史特講III-b		1	1.0	2-4	秋AB	金3	中野目 徹		対面
AB71B71	日本史特講IV-a		1	1.0	2-4			日本思想史学の課題と方法を、徳富蘇峰を取り上げて検討する。	西暦偶数年度開講。対面	
AB71B81	日本史特講IV-b		1	1.0	2-4			日本思想史学の課題と方法を、志賀重昂を取り上げて検討する。	西暦偶数年度開講。対面	
AB71C31	日本史特講VI-a		1	1.0	2-4			中世の政治・社会を考察する。	西暦偶数年度開講。対面	
AB71C41	日本史特講VI-b		1	1.0	2-4			中世期の対外関係史を考察する。あわせて中世の政治・社会の特質についても言及する。	西暦偶数年度開講。詳細後日周知。対面	
AB71E12	日本史演習I-a		2	2.0	2-4	春AB	火3,4	中野目 徹, 田中友香理		対面
AB71E22	日本史演習I-b		2	2.0	2-4	秋AB	火3,4	中野目 徹, 田中友香理		対面
AB71E32	日本史演習II-a		2	2.0	2-4			奈良・平安時代に関する法制史料を輪読する。	西暦偶数年度開講。対面	
AB71E42	日本史演習II-b		2	2.0	2-4			奈良・平安時代に関する法制史料を精読する。	西暦偶数年度開講。対面	
AB71F12	日本史演習V-a		2	2.0	2-4			明治期について論じた先行研究を輪読する。	西暦偶数年度開講。対面	
AB71F22	日本史演習V-b		2	2.0	2-4			明治期に関する文献史料を精読する。	西暦偶数年度開講。対面	
AB71F32	日本史演習VI-a		2	2.0	2-4	春AB	木3,4	三谷 芳幸	古代の法令集『類聚三代格』を輪読し、奈良・平安時代の諸問題について議論する。	対面
AB71F42	日本史演習VI-b		2	2.0	2-4	秋AB	木3,4	三谷 芳幸	古代の法令集『類聚三代格』を輪読し、日本古代史研究の方法を身につける。	対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	担当教員	授業概要	備考
AB71G13	日本史実習-A	3	1.0	2-4	秋学期	応談	中野目 徹, 田中友香理		原則として、日本史演習 I-a履修済かつ日本史演習 I-b履修中の者を対象とする。 含野外調査。対面
AB71G23	日本史実習-B	3	1.0	2-4	秋学期	応談	三谷 芳幸	史跡・展示施設を訪問し、史料・遺物を実見することで、日本古代史を立体的に体験する。	原則として、日本史演習 VI-a履修済かつ日本史演習 VI-b履修中の者を対象とする。 含野外調査。対面
AB71G33	日本史実習-C	3	1.0	2-4				日本近代・現代史が営まれた場に赴きフィールドワークを行なう。	原則として、日本史演習 V-a履修済かつ日本史演習 V-b履修中の者を対象とする。 西暦偶数年度開講。 含野外調査。対面
AB71K12	日本史研究-a	2	2.0	4	春ABC	随時	田中 友香理, 中野目 徹, 三谷 芳幸	卒業論文作成の指導を行なう。	対面
AB71K22	日本史研究-b	2	2.0	4	秋ABC	随時	田中 友香理, 中野目 徹, 三谷 芳幸	卒業論文執筆の指導を行なう。	対面
AB71K32	日本史研究-b	2	2.0	4	春ABC	随時	中野目 徹, 三谷 芳幸, 田中 友香理	卒業論文執筆の指導を行う。	春学期末卒業予定者用。 前年度までに「日本史研究-a」を修得済みの学生のみに限る。履修登録方法については別途周知予定。
AB71K38	卒業論文(日本史学)	8	6.0	4	秋ABC	随時	田中 友香理, 中野目 徹, 三谷 芳幸	日本史学に関する卒業論文。	対面
AB71K48	卒業論文(日本史学)	8	6.0	4	春ABC	随時	中野目 徹, 三谷 芳幸, 田中 友香理	日本史に関する卒業論文。	春学期末卒業予定者用。 履修登録方法については別途周知予定。

史学(ユーラシア史学)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	担当教員	授業概要	備考
AB72A12	アッカド語初級I	2	1.0	1-2	春A	金3,4	柴田 大輔	アッカド語の初級文法と簡単な楔形文字について学習する。特に名詞について学ぶ。	原則として受講は人文・文化学群と総合学域群第1類の学生に限る。 対面
AB72A22	アッカド語初級II	2	1.0	1-2	春B	金3,4	柴田 大輔	アッカド語の初級文法と簡単な楔形文字について学習する。特に強動詞のG語幹について学ぶ。	受講は「アッカド語初級I」の単位を取得したものに限り。 対面
AB72A32	アッカド語初級III	2	1.0	1-2	秋A	金3,4	柴田 大輔	アッカド語の初級文法と簡単な楔形文字について学習する。特に強動詞のその他の語幹について学ぶ。	受講は「アッカド語初級II」の単位を取得したものに限り。 対面
AB72A42	アッカド語初級IV	2	1.0	1-2	秋B	金3,4	柴田 大輔	アッカド語の初級文法と簡単な楔形文字について学習する。特に弱動詞について学ぶ。	受講は「アッカド語初級III」の単位を取得したものに限り。 対面
AB72C12	古代西アジア史文献学 I-a	2	1.0	2-4				古巴ビロニア時代の王碑文を講読する。	受講は「アッカド語初級IV」の単位を取得したものに限り。対面。 西暦偶数年度開講。 対面
AB72C22	古代西アジア史文献学 I-b	2	1.0	2-4				新アッシリア時代の王碑文を講読する。	受講は「アッカド語初級IV」の単位を取得したものに限り。対面。 西暦偶数年度開講。 対面
AB72C32	古代西アジア史文献学 II-a	2	1.0	2-4	春AB	金6	柴田 大輔	『ハンムラビ法典』を講読する。	受講は「アッカド語初級IV」の単位を取得したものに限り。対面。 西暦奇数年度開講。 対面
AB72C42	古代西アジア史文献学 II-b	2	1.0	2-4	秋AB	金6	柴田 大輔	古巴ビロニア時代の平易な書簡を講読する。	受講は「アッカド語初級IV」の単位を取得したものに限り。対面を予定。 西暦奇数年度開講。 対面
AB72C52	古代西アジア史文献学 III-a	2	1.0	2-4				文語バビロニア語の文学・宗教文書を講読する。	受講は「古代西アジア史文献学I-b」もしくは「古代西アジア史文献学II-b」の単位を取得したものに限り。対面。 西暦偶数年度開講。 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	担当教員	授業概要	備考
AB72C62	古代西アジア史文献学 III-b	2	1.0	2 - 4				文語バビロニア語の文学・宗教文書を講読する。	受講は「古代西アジア史文献学III-a」の単位を取得したものに限り。対面。 西暦偶数年度開講。 対面
AB72C72	古代西アジア史文献学 IV-a	2	1.0	2 - 4				文語バビロニア語の文学・宗教文書を講読する。	受講は「古代西アジア史文献学I-b」もしくは「古代西アジア史文献学II-b」の単位を取得したものに限り。対面。 西暦偶数年度開講。 対面
AB72C82	古代西アジア史文献学 IV-b	2	1.0	2 - 4				文語バビロニア語の文学・宗教文書を講読する。	受講は「古代西アジア史文献学IV-a」の単位を取得したものに限り。対面。 西暦偶数年度開講。 対面
AB72D12	古代西アジア史文献学 V-a	2	1.0	2 - 4	秋AB	木4	柴田 大輔	バビロニア語文学・宗教文書を講読する。	受講は「古代西アジア史文献学I-b」もしくは「古代西アジア史文献学II-b」の単位を取得したものに限り。対面。 西暦奇数年度開講。 対面
AB72D22	古代西アジア史文献学 V-b	2	1.0	2 - 4	秋AB	木6	柴田 大輔	バビロニア語文学・宗教文書を講読する。	受講は「古代西アジア史文献学V-a」の単位を取得したものに限り。対面。 西暦奇数年度開講。 対面
AB72D32	古代西アジア史文献学 VI-a	2	1.0	2 - 4				バビロニア語文学・宗教文書を講読する。	受講は「古代西アジア史文献学I-b」もしくは「古代西アジア史文献学II-b」の単位を取得したものに限り。対面を予定。 西暦奇数年度開講。 2025年度開講せず。 対面
AB72D42	古代西アジア史文献学 VI-b	2	1.0	2 - 4				バビロニア語文学・宗教文書を講読する。	受講は「古代西アジア史文献学VI-a」の単位を取得したものに限り。対面を予定。 西暦奇数年度開講。 2025年度開講せず。 対面
AB72F11	古代西アジア史特講I-a	1	1.0	2・3				古代西アジア史に関する講義を行う。	2025年度開講せず。 対面
AB72F21	古代西アジア史特講I-b	1	1.0	2・3				古代西アジア史に関する講義を行う。	2025年度開講せず。 対面
AB72F31	古代西アジア史特講II-a	1	1.0	2・3	春AB	火2	柴田 大輔	古代エジプトに関する講義を行う。	対面
AB72F41	古代西アジア史特講II-b	1	1.0	2・3	秋AB	火2	柴田 大輔		対面
AB72H12	古代西アジア史演習I-a	2	2.0	3・4				古代西アジア史の研究に取り組む学生の演習。自らの研究課題について発表し、また討論する。	受講は「アッカド語初級IV」もしくは「アッカド語初級b」の単位を取得したものに限り。 2023年度より2年おきに開講。 対面
AB72H22	古代西アジア史演習I-b	2	2.0	3・4				古代西アジア史の研究に取り組む学生の演習。自らの研究課題について発表し、また討論する。	受講は「アッカド語初級IV」もしくは「アッカド語初級b」の単位を取得したものに限り。対面。 2023年度より2年おきに開講。 対面
AB72H32	古代西アジア史演習II-a	2	2.0	3・4				古代西アジア史の研究に取り組む学生の演習。自らの研究課題について発表し、また討論する。	受講は「アッカド語初級IV」もしくは「アッカド語初級b」の単位を取得したものに限り。 2024年度より2年おきに開講。 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	担当教員	授業概要	備考
AB72H42	古代西アジア史演習II-b	2	2.0	3・4				古代西アジア史の研究に取り組む学生の演習。自らの研究課題について発表し、また討論する。	受講は「アッカド語初級IV」もしくは「アッカド語初級b」の単位を取得したものに限定する。 2024年度より2年おきに開講。 対面
AB72H52	古代西アジア史演習III-a	2	2.0	3・4	春AB	火3,4	柴田 大輔	古代西アジア史の研究に取り組む学生の演習。自らの研究課題について発表し、また討論する。	受講は「アッカド語初級IV」もしくは「アッカド語初級b」の単位を取得したものに限定する。 2025年度より2年おきに開講。 対面
AB72H62	古代西アジア史演習III-b	2	2.0	3・4	秋AB	火3,4	柴田 大輔	古代西アジア史の研究に取り組む学生の演習。自らの研究課題について発表し、また討論する。	受講は「アッカド語初級IV」もしくは「アッカド語初級b」の単位を取得したものに限定する。 2025年度より2年おきに開講。 対面
AB73A12	中国史文献学I-a	2	1.0	1-3				『清実録』の講読を通して漢文史料の基礎的な読解能力を身につける。全履修生が各々の担当部分についてレジュメを作成し報告を行う。『大漢和辞典』および『中日大辞典』の使用が最低限のノルマとして課される。	2027年度より2年おきに開講。 2025年度開講せず。 対面
AB73A22	中国史文献学I-b	2	1.0	1-3				『清実録』の講読を通して漢文史料の読解能力を実践的な水準に高める。全履修生が各々の担当部分についてレジュメを作成し報告を行う。『大漢和辞典』および『中日大辞典』の使用が最低限のノルマとして課される。	2027年度より2年おきに開講。 2025年度開講せず。 対面
AB73A32	中国史文献学II-a	2	1.0	1-3	春AB	木6	上田 裕之	『石渠余紀』の講読を通して漢文史料の基礎的な読解能力を身につける。全履修生が各々の担当部分についてレジュメを作成し報告を行う。『大漢和辞典』および『中日大辞典』の使用が最低限のノルマとして課される。	2025年度より2年おきに開講。 対面
AB73A42	中国史文献学II-b	2	1.0	1-3	秋AB	木6	上田 裕之	『石渠余紀』の講読を通して漢文史料の読解能力を実践的な水準に高める。全履修生が各々の担当部分についてレジュメを作成し報告を行う。『大漢和辞典』および『中日大辞典』の使用が最低限のノルマとして課される。	2025年度より2年おきに開講。 対面
AB73A52	中国史文献学III-a	2	1.0	1-3				『清史列伝』の講読を通して漢文史料の基礎的な読解能力を身につける。全履修生が各々の担当部分についてレジュメを作成し報告を行う。『大漢和辞典』および『中日大辞典』の使用が最低限のノルマとして課される。	2026年度より2年おきに開講。 2025年度開講せず。 対面
AB73A62	中国史文献学III-b	2	1.0	1-3				『清史列伝』の講読を通して漢文史料の読解能力を実践的な水準に高める。全履修生が各々の担当部分についてレジュメを作成し報告を行う。『大漢和辞典』および『中日大辞典』の使用が最低限のノルマとして課される。	2026年度より2年おきに開講。 2025年度開講せず。 対面
AB73C12	満洲語文語基礎-a	2	1.0	1-3	春AB	木5	岩田 啓介	清朝の公用語である満洲語の文字・文法と満洲語史料の基礎知識を、講義と史料講読を通じて習得する。	西暦奇数年度開講。 対面
AB73C22	満洲語文語基礎-b	2	1.0	1-3	秋AB	木5	岩田 啓介	史料講読を通じて、清朝の公用語である満洲語の文法に関する知識を定着させ、満洲語史料の読解力の向上を図る。	この科目の受講は「満洲語文語基礎-a」の単位を既に取得した学生に限る。 西暦奇数年度開講。 対面
AB73C32	満洲語文語-a	2	1.0	1-3				清朝の内陸アジア政策に関する満洲語の編纂史料を講読し、満洲語史料を読み解くための実践的知識を獲得する。	この科目の受講は「満洲語文語基礎-b」の単位を既に取得した学生に限る。 西暦偶数年度開講。 対面
AB73C42	満洲語文語-b	2	1.0	1-3				清朝の内陸アジア政策に関する檔案史料(公文書)を講読し、満洲語史料を読み解くための応用的能力を獲得する。	この科目の受講は「満洲語文語-a」の単位を既に取得した学生に限る。 西暦偶数年度開講。 対面
AB73D12	チベット語文語基礎-a	2	1.0	2-4	春AB	火6	岩田 啓介	チベット語の文字と文法の基礎を解説し、チベット語史料を読解するための基礎知識を習得する。	西暦奇数年度開講。 対面
AB73D22	チベット語文語基礎-b	2	1.0	2-4	秋AB	火6	横山 剛	平易なチベット語文書の講読を通じて、チベット語の文法に関する知識を定着させるとともに、チベット語史料の読解力の向上を図る。	この科目の受講は「チベット語文語基礎-a」の単位を既に取得した学生に限る。 西暦奇数年度開講。 対面
AB73F11	中国史特講I-a	1	1.0	2-4				17世紀に成立した清朝(ダイチン・グルン)の特徴を、周辺諸勢力との関係を踏まえて多角的な視座から解説する。それを通じて、清朝の統治構造と国家論に関する知識を深めることを目標とする。	西暦偶数年度開講。 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	担当教員	授業概要	備考
AB73F21	中国史特講I-b	1	1.0	2-4				17~18世紀における清朝と内陸アジア諸勢力との関係について、特にチベットとその境界地帯の勢力に着目して解説する。それを通じて、清朝の内陸アジア政策の特徴とそれを規定した多面的な要因についての理解を深める。	西暦偶数年度開講。 対面
AB73H12	中国史演習I-a	2	2.0	2-4				人文学類中国史サブコースのゼミ。自らの研究テーマに関係する先行研究を精読し、そこに批判的検討を加えることを通じて、卒業論文に向けて自らの研究課題を明確化していくことを目標とする。	この科目の受講は「中国史文献学」の単位を取得済みまたは履修中の学生に限る。 2026年度より2年おきに開講。 2025年度開講せず。 対面
AB73H22	中国史演習I-b	2	2.0	2-4				人文学類中国史サブコースのゼミ。自らの研究課題に即して先行研究および史料を調査・収集し、そこに批判的検討を加えることを通じて、卒業論文に向けて自らの研究を具体化していくことを目標とする。	この科目の受講は「中国史文献学」の単位を取得済みまたは履修中の学生に限る。 2026年度より2年おきに開講。 2025年度開講せず。 対面
AB73H32	中国史演習II-a	2	2.0	2-4				人文学類中国史サブコースのゼミ。自らの研究テーマに関係する先行研究を精読し、そこに批判的検討を加えることを通じて、卒業論文に向けて自らの研究課題を明確化していくことを目標とする。	この科目の受講は「中国史文献学」の単位を取得済みまたは履修中の学生に限る。 2027年度より2年おきに開講。 2025年度開講せず。 対面
AB73H42	中国史演習II-b	2	2.0	2-4				人文学類中国史サブコースのゼミ。自らの研究課題に即して先行研究および史料を調査・収集し、そこに批判的検討を加えることを通じて、卒業論文に向けて自らの研究を具体化していくことを目標とする。	この科目の受講は「中国史文献学」の単位を取得済みまたは履修中の学生に限る。 2027年度より2年おきに開講。 2025年度開講せず。 対面
AB73H52	中国史演習III-a	2	2.0	2-4	春AB	火3,4	岩田 啓介, 上田裕之	人文学類中国史サブコースのゼミ。自らの研究テーマに関係する先行研究を精読し、そこに批判的検討を加えることを通じて、卒業論文に向けて自らの研究課題を明確化していくことを目標とする。	この科目の受講は「中国史文献学」の単位を取得済みまたは履修中の学生に限る。 2025年度より2年おきに開講。 対面
AB73H62	中国史演習III-b	2	2.0	2-4	秋AB	火3,4	岩田 啓介, 上田裕之	人文学類中国史サブコースのゼミ。自らの研究課題に即して先行研究および史料を調査・収集し、そこに批判的検討を加えることを通じて、卒業論文に向けて自らの研究を具体化していくことを目標とする。	この科目の受講は「中国史文献学」の単位を取得済みまたは履修中の学生に限る。 2025年度より2年おきに開講。 対面
AB74A12	ヨーロッパ・アメリカ史基礎文献講読-a	2	1.0	1・2	春AB	金5	村上 宏昭	ヨーロッパ・アメリカ史の英文入門書を講読する。	この科目の単位取得が、「ヨーロッパ・アメリカ史演習I-a」～「ヨーロッパ・アメリカ史演習III-b」の履修条件になる。 対面
AB74A22	ヨーロッパ・アメリカ史基礎文献講読-b	2	1.0	1・2	秋AB	金5	村上 宏昭	ヨーロッパ・アメリカ史に関する基礎的な英文研究書・論文を講読する。	この科目の単位取得が、「ヨーロッパ・アメリカ史演習I-a」～「ヨーロッパ・アメリカ史演習III-b」の履修条件になる。 対面
AB74C12	ヨーロッパ・アメリカ史文献学I-a	2	1.0	2-4				ヨーロッパ近現代史に関するドイツ語文献を講読する。	西暦偶数年度開講。 オンライン(同時双方向型)
AB74C22	ヨーロッパ・アメリカ史文献学I-b	2	1.0	2-4				ヨーロッパ近現代史に関するドイツ語文献を講読する。	西暦偶数年度開講。 オンライン(同時双方向型)
AB74C32	ヨーロッパ・アメリカ史文献学II-a	2	1.0	2-4	春AB	火4	村上 宏昭	ヨーロッパ近現代史に関するドイツ語文献を講読する。	ドイツ語の初級文法を習得していることが望ましい。 西暦奇数年度開講。 対面
AB74C42	ヨーロッパ・アメリカ史文献学II-b	2	1.0	2-4	秋AB	火4	村上 宏昭	ヨーロッパ近現代史に関するドイツ語文献を講読する。	ドイツ語の初級文法を習得していることが望ましい。 西暦奇数年度開講。 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	担当教員	授業概要	備考
AB74H12	ヨーロッパ・アメリカ史演習I-a	2	2.0	3・4				ヨーロッパ・アメリカ史の研究に取り組む学生の演習。自ら設定した課題について発表し、討論する。	この科目の受講は「ヨーロッパ・アメリカ史基礎文献購読a」・「同b」もしくは「ヨーロッパ・アメリカ史基礎文献購読-a」・「同-b」の単位を取得したものに限定する。 2024年度より2年おきに開講。 対面
AB74H22	ヨーロッパ・アメリカ史演習I-b	2	2.0	3・4				ヨーロッパ・アメリカ史の研究に取り組む学生の演習。自ら設定した課題について発表し、討論する。	この科目の受講は「ヨーロッパ・アメリカ史基礎文献購読a」・「同b」もしくは「ヨーロッパ・アメリカ史基礎文献購読-a」・「同-b」の単位を取得したものに限定する。 2024年度より2年おきに開講。 対面
AB74H32	ヨーロッパ・アメリカ史演習II-a	2	2.0	3・4	春AB	火5,6	村上 宏昭	ヨーロッパ・アメリカ史の研究に取り組む学生の演習。自ら設定した課題について発表し、討論する。	この科目の受講は「ヨーロッパ・アメリカ史基礎文献購読a」・「同b」もしくは「ヨーロッパ・アメリカ史基礎文献購読-a」・「同-b」の単位を取得したものに限定する。 2025年度より2年おきに開講。 対面
AB74H42	ヨーロッパ・アメリカ史演習II-b	2	2.0	3・4	秋AB	火5,6	村上 宏昭	ヨーロッパ・アメリカ史の研究に取り組む学生の演習。自ら設定した課題について発表し、討論する。	この科目の受講は「ヨーロッパ・アメリカ史基礎文献購読a」・「同b」もしくは「ヨーロッパ・アメリカ史基礎文献購読-a」・「同-b」の単位を取得したものに限定する。 2025年度より2年おきに開講。 対面
AB74H52	ヨーロッパ・アメリカ史演習III-a	2	2.0	3・4				ヨーロッパ・アメリカ史の研究に取り組む学生の演習。自ら設定した課題について発表し、討論する。	この科目の受講は「ヨーロッパ・アメリカ史基礎文献購読a」・「同b」の単位を取得したものに限定する。 2023年度より2年おきに開講。 対面
AB74H62	ヨーロッパ・アメリカ史演習III-b	2	2.0	3・4				ヨーロッパ・アメリカ史の研究に取り組む学生の演習。自ら設定した課題について発表し、討論する。	この科目の受講は「ヨーロッパ・アメリカ史基礎文献購読a」・「同-b」の単位を取得したものに限定する。 2023年度より2年おきに開講。 対面
AB74K12	ユーラシア史研究-a	2	2.0	4	春ABC	随時	柴田 大輔, 岩田 啓介, 上田 裕之, 村上 宏昭	ユーラシア史に関する卒業論文作成の指導を行う。	対面
AB74K22	ユーラシア史研究-b	2	2.0	4	秋ABC	随時	柴田 大輔, 岩田 啓介, 上田 裕之, 村上 宏昭	ユーラシア史に関する卒業論文作成の指導を行う。	対面
AB74K38	卒業論文(ユーラシア史学)	8	6.0	4	秋ABC	随時	柴田 大輔, 岩田 啓介, 上田 裕之, 村上 宏昭	ユーラシア史学に関する卒業論文。	

史学(歴史地理学)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	担当教員	授業概要	備考
AB75A11	歴史地誌学-a	1	1.0	2・3	春C	木4,5	清水 克志	日本列島が内包する地域差や多様性に着目しながら、景観や生活文化の地域的特色と歴史的变化について理解する。	西暦奇数年度開講。 対面
AB75A21	歴史地誌学-b	1	1.0	2・3				中国・朝鮮半島を含む東アジアの歴史地理的諸事象を、各事象の大陸と半島、沿岸部と内陸部などの地域差に注目しながら、相互に関連付けて理解する。	西暦偶数年度開講。 オンライン(オンデマンド型)
AB75A31	歴史地理学研究法-a	1	1.0	2・3	春AB	火4	清水 克志	歴史地理学研究における近世および近代史料の扱い方について教授する。	西暦奇数年度開講。 対面
AB75A41	歴史地理学研究法-b	1	1.0	2・3	秋AB	火4	清水 克志	歴史地理学研究における読図や作図の方法、GISの活用方法について教授する。	西暦奇数年度開講。 対面(オンライン併用型)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	担当教員	授業概要	備考
AB75A51	歴史地理学特講-a	1	1.0	2・3	春B	集中	三木 一彦	ヨーロッパの歴史地理を、系統地理的な分野別に概観することによって、ヨーロッパの空間的な形成過程について概説する。	両日ともに1-5限で実施。 西暦奇数年度開講。 対面 欧米歴史地理学講義aの単位取得者は履修できない。
AB75A61	歴史地理学特講-b	1	1.0	2・3	秋A	集中	三木 一彦	ヨーロッパの中でも、とくにフランスの歴史地理を取り上げ、その歴史的展開を時間軸に沿って概説する。	両日ともに1-5限実施。 西暦奇数年度開講。 対面 欧米歴史地理学講義bの単位取得者は履修できない。
AB75B12	歴史地理学文献演習I-a	2	1.0	2-4	春AB	金4	中西 僚太郎	歴史地理学に関する英文のテキストを講読し、それを基に歴史地理学の方法論について解説を加える。	2025年度より2年おきに開講。 対面
AB75B22	歴史地理学文献演習I-b	2	1.0	2-4	秋AB	金4	中西 僚太郎	歴史地理学に関する英文のテキストを講読し、それを基に歴史地理学の諸問題について解説を加える。	受講者は「歴史地理学文献演習I-a」を修得したものに限る。 2025年度より2年おきに開講。 対面
AB75B42	歴史地理学文献演習II-a	2	1.0	2-4				歴史地理学に関する英文のテキストを講読し、それを基に歴史地理学の方法論について解説を加える。	2023年度より2年おきに開講。 対面
AB75B52	歴史地理学文献演習II-b	2	1.0	2-4				歴史地理学に関する英文のテキストを講読し、それを基に歴史地理学の諸問題について解説を加える。	受講者は「歴史地理学文献演習II-a」を修得したものに限る。 2023年度より2年おきに開講。 対面
AB75B72	歴史地理学文献演習III-a	2	1.0	2-4				歴史地理学に関する英文のテキストを講読し、それを基に歴史地理学の方法論について解説を加える。	2024年度より2年おきに開講。 対面
AB75B82	歴史地理学文献演習III-b	2	1.0	2-4				歴史地理学に関する英文のテキストを講読し、それを基に歴史地理学の諸問題について解説を加える。	受講者は「歴史地理学文献演習III-a」を修得したものに限る。 2024年度より2年おきに開講。 対面
AB75C12	歴史地理学演習I-a	2	2.0	2-4				歴史地理学の研究手法の習得を目的とする。学術雑誌論文の講読を通して、資料の収集と解読法、図化の手法などを学ぶ。	歴史地理学コース希望の学生は2年次から履修すること。 2024年度より2年おきに開講。 対面
AB75C22	歴史地理学演習I-b	2	2.0	2-4				歴史地理学の研究手法の習得を目的とする。学術雑誌論文の講読を通して、資料の収集と解読法、図化の手法などを学ぶ。	受講者は「歴史地理学演習I-a」を修得したものに限る。歴史地理学コース希望の学生は2年次から履修すること。 2024年度より2年おきに開講。 対面
AB75C32	歴史地理学演習II-a	2	2.0	2-4	春AB	木4,5	中西 僚太郎, 清水克志	歴史地理学の研究手法の習得を目的とする。学術雑誌論文の講読を通して、論文の構成方法、まとめ方などを学ぶ。	歴史地理学コース希望の学生は2年次から履修すること。 2025年度より2年おきに開講。 対面
AB75C42	歴史地理学演習II-b	2	2.0	2-4	秋AB	木4,5	中西 僚太郎, 清水克志	歴史地理学の研究手法の習得を目的とする。学術雑誌論文の講読を通して、資料の収集と解読法、図化の手法などを学ぶ。	受講者は「歴史地理学演習II-a」を修得したものに限る。歴史地理学コース希望の学生は2年次から履修すること。 2025年度より2年おきに開講。 対面
AB75C52	歴史地理学演習III-a	2	2.0	2-4				歴史地理学の研究手法の習得を目的とする。学術雑誌論文の講読を通して、論文の構成方法、まとめ方などを学ぶ。	歴史地理学コース希望の学生は2年次から履修すること。 2023年度より2年おきに開講。 対面
AB75C62	歴史地理学演習III-b	2	2.0	2-4				歴史地理学の研究手法の習得を目的とする。学術雑誌論文の講読を通して、資料の収集と解読法、図化の手法などを学ぶ。	受講者は「歴史地理学演習III-a」を修得したものに限る。歴史地理学コース希望の学生は2年次から履修すること。 2023年度より2年おきに開講。 対面
AB75E13	歴史地理学実習-A	3	2.0	2-4	通年	集中	中西 僚太郎, 清水克志	歴史地理学研究に必要とされる文献調査、聞き取り調査や野外観察の方法を現地指導する。	歴史地理学コース希望の学生は2年次から履修すること。 2025年度より2年おきに開講。 詳細後日周知。対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	担当教員	授業概要	備考	
AB75E23	歴史地理学実習-B		3	2.0	2 - 4			歴史地理学研究に必要とされる文献調査、聞き取り調査や野外観察の方法を現地指導する。	歴史地理学コース希望の学生は2年次から履修すること。履修は原則として歴史地理学演習の受講者に限る。 2023年度より2年おきに開講。 詳細後日周知。対面	
AB75E33	歴史地理学実習-C		3	2.0	2 - 4			歴史地理学研究に必要とされる文献調査、聞き取り調査や野外観察の方法を現地指導する。	歴史地理学コース希望の学生は2年次から履修すること。履修は原則として歴史地理学演習の受講者に限る。 2024年度より2年おきに開講。 詳細後日周知。対面	
AB75K12	歴史地理学研究-a		2	2.0	4	春ABC	随時	中西 僚太郎, 清水克志	歴史地理学コースの学生の卒論指導を春学期に即して行う。	対面
AB75K22	歴史地理学研究-b		2	2.0	4	秋ABC	随時	中西 僚太郎, 清水克志	歴史地理学コースの学生の卒論指導を秋学期に即して行う。	対面
AB75K38	卒業論文(歴史地理学)		8	6.0	4	秋ABC	随時	中西 僚太郎, 清水克志	歴史地理学コースの卒業論文である。	対面
AB75K48	卒業論文(歴史地理学)		8	6.0	4	春ABC	随時	中西 僚太郎, 清水克志	歴史地理学コースの卒業論文である。	春学期末卒業予定者用。 対面 履修登録方法については別途周知予定。

考古学・民俗学(専門基礎科目)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	担当教員	授業概要	備考	
AB80A11	先史学概説-a		1	1.0	1・2	春AB	金3	三宅 裕	人類史を理解するための方法・内容について具体的な事例を提示しつつ解説する。縄文時代をテーマとし、集落構造を中心に、環状列石、環状木柱列、周堤墓などの遺構についても解説し、縄文社会への理解を深める。	対面
AB80A21	先史学概説-b		1	1.0	1・2	秋AB	金3	三宅 裕	人類史を理解するために先史学では何が行われているのか、具体的な事例を扱いながら解説する。縄文時代をテーマとし、生業を中心に、装身具、石器などの遺物についても解説し、縄文社会への理解を深める。	対面
AB80B11	考古学概説-a		1	1.0	1・2	春AB	木3	滝沢 誠	考古学とはどのような学問か。考古学の射程と限界について、研究の到達点と問題点に言及しつつ解説する。とくに、考古学の方法について講義をおこなう。	対面
AB80B21	考古学概説-b		1	1.0	1・2	秋AB	木3	滝沢 誠	考古学とはどのような学問か。考古学の射程と限界について、研究の到達点と問題点に言及しつつ解説する。とくに、日本考古学の成果と課題について講義をおこなう。	★2018年度以前入学者の人文・文化学群コアカリキュラム(人文学類生は学群コアカリキュラムとしては履修できない) 対面
AB80C11	民俗学概説		1	1.0	1・2	春AB	金4	中野 泰	日本の民俗学の誕生と、20世紀における展開について、柳田国男等の研究者を取り上げ、その思想と方法に焦点を当てて概説し、家・家族の民俗に焦点をあてながら、民俗学的思考法の課題と可能性を考察する。	考古学・民俗学専攻希望の学生はAC50E11と合わせて民俗学の専門基礎科目とする(人文学類生は学群コアカリキュラムとしては履修できない) 対面(オンライン併用型) manabaで後日通知する
AB80E11	文化人類学概説		1	1.0	1・2	秋AB	木4	中村 友香	諸社会は世界をどのように知覚してきたのか?理解してきたのか?文化的な活動に焦点を当てて、そこに見いだされる人間集団の根本的な問題について考察する。	考古学・民俗学専攻希望の学生はAC50E01と合わせて文化人類学の専門基礎科目とする オンライン(同時双方向型) 詳細はmanabaで後日通知する

考古学・民俗学(先史学・考古学)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	担当教員	授業概要	備考
AB81B11	先史学特講I-a		1	1.0	2 - 4			先史学研究にもとめられる人類史と地球環境史に関する学際的な知識を身に着けることを目的とし、人類が取り巻く環境やその変化にどの様に適応してきたかを論じていく。	西暦偶数年度開講。 対面
AB81B21	先史学特講I-b		1	1.0	2 - 4			先史学研究にもとめられる人類史と地球環境史に関する学際的な知識を身に着けることを目的とし、ヒトが社会や文化の発展と共に農耕や集落構築などを通じていかに環境を改変してきたかを論じていく。	西暦偶数年度開講。 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	担当教員	授業概要	備考
AB81B31	先史学特講II-a	1	1.0	2-4	春AB	火4	板橋 悠	先史学研究で扱われる理論を理解し応用することを目的とし、各回で人類が取り巻く環境にどの様に適応してきたかを推測する理論やモデルを取り上げて議論する、双方向型の授業を行う。	西暦奇数年度開講。対面
AB81B41	先史学特講II-b	1	1.0	2-4	秋AB	火4	板橋 悠	先史学研究で扱われる理論を理解し応用することを目的とし、先史集団がどのように農耕社会や都市文明を形成してきたかを説明する理論やモデルを取り上げて議論する、双方向型の授業を行う。	西暦奇数年度開講。対面
AB81B51	先史学特講III-a	1	1.0	2-4	春AB	月4	三宅 裕	西アジア先史時代における生業のあり方を検討し、狩猟採集社会から農耕牧畜社会への移行について論じる。	西暦奇数年度開講。対面
AB81B61	先史学特講III-b	1	1.0	2-4	秋AB	月4	三宅 裕	西アジア先史時代における生業のあり方を検討し、動物と人間の関係性、家畜飼育の様相、遊牧の開始、乳利用の意義などについて解説する。	西暦奇数年度開講。対面
AB81B71	先史学特講IV-a	1	1.0	2-4				アナトリア（トルコ）の事例を中心に、西アジアの先史時代を概観する。旧石器時代から新石器時代までの人類の適応戦略について検討する。	西暦偶数年度開講。対面
AB81B81	先史学特講IV-b	1	1.0	2-4				アナトリア（トルコ）の事例を中心に、西アジアの先史時代から古代について概観する。銅器時代から青銅器時代までの、都市化の過程と都市社会について検討する。	西暦偶数年度開講。対面
AB81H13	先史学実習-A	3	1.0	2-4				1週間の室内実習を行う。	2023年度より3年おきに開講。対面
AB81H23	先史学実習-B	3	1.0	2-4				1週間の野外・室内実習を行う。	2024年度より3年おきに開講。対面
AB81H33	先史学実習-C	3	1.0	2-4	秋学期	集中	三宅 裕, 谷口 陽子, 板橋 悠	1週間の野外・室内実習を行う。	2025年度より3年おきに開講。対面
AB81H43	先史学実習-D	3	1.0	2-4				1週間の室内実習を行う。	2022年度より3年おきに開講。対面
AB82B11	考古学特講I-a	1	1.0	2-4	春AB	月5	滝沢 誠	日本列島における国家の出現や基層文化の形成を中心テーマとし、古墳時代をめぐる諸問題について講義を行う。	西暦奇数年度開講。対面
AB82B21	考古学特講I-b	1	1.0	2-4	秋AB	月5	滝沢 誠	日本列島における国家の形成を中心テーマとし、古墳時代の社会と文化について講義を行う。	西暦奇数年度開講。対面
AB82B31	考古学特講II-a	1	1.0	2-4				東アジア世界（おもに朝鮮半島）との交流をテーマとし、古墳時代の社会と文化について講義をおこなう。	西暦偶数年度開講。対面 授業形態は状況に応じてオンラインほかに変更する可能性がある
AB82B41	考古学特講II-b	1	1.0	2-4				古墳時代の鉄器生産（主に武器・武具）をとりあげ、それらが国家形成期の日本列島社会に果たした役割について講義をおこなう。	西暦偶数年度開講。対面 授業形態は状況に応じてオンラインほかに変更する可能性がある
AB82B51	考古学特講III-a	1	1.0	2-4	春AB	木4	前田 修	遺物から過去の社会を研究する一例として石器研究を取り上げ、概説的な知識から専門的な研究実践のノウハウまで、包括的なスキルを習得することを目指す。おもに、石材の獲得、石器の製作技術、使用方法について解説する。	西暦奇数年度開講。対面
AB82B61	考古学特講III-b	1	1.0	2-4	秋AB	木4	前田 修	遺物から過去の社会を研究する一例として石器研究を取り上げ、概説的な知識から専門的な研究実践のノウハウまで、包括的なスキルを習得することを目指す。おもに、石器の型式について、日本と西アジアの石器をとりあげて解説する。	西暦奇数年度開講。対面
AB82B71	考古学特講IV-a	1	1.0	2-4				考古学研究における理論と方法の多様性について、生業・技術・交易・ジェンダー研究など事例を取り上げて解説する。	西暦偶数年度開講。対面
AB82B81	考古学特講IV-b	1	1.0	2-4				考古学研究における理論と方法の多様性について、住居・服飾・儀礼・埋葬研究などの事例を取り上げて解説する。	西暦偶数年度開講。対面
AB82H13	考古学実習-A	3	1.0	2-4	春学期 秋学期	集中	滝沢 誠, 前田 修	1週間程度の野外実習を行う。受講生は、定められた実習期間のうち必要な日数分の野外実習に参加する。	2025年度より3年おきに開講。含野外調査。対面
AB82H23	考古学実習-B	3	1.0	2-4				1週間の野外実習を行う。受講生は、定められた実習期間のうち必要な日数分の野外実習に参加する。	2022年度より3年おきに開講。含野外調査。対面
AB82H33	考古学実習-C	3	1.0	2-4				1週間の野外実習を行う。受講生は、定められた実習期間のうち必要な日数分の野外実習に参加する。	2023年度より3年おきに開講。含野外調査。対面
AB82H43	考古学実習-D	3	1.0	2-4				1週間の野外実習を行う。受講生は、定められた実習期間のうち必要な日数分の野外実習に参加する。	2024年度より3年おきに開講。含野外調査。対面
AB83A11	物質資料研究法-a	1	1.0	1・2	春AB	木6	前田 修	物質資料研究に必要な室内調査（遺物の分析）の基本技術を学ぶ。	履修制限あり 対面
AB83A21	物質資料研究法-b	1	1.0	1・2	秋AB	木6	前田 修	実物資料に触れながら、考古学研究に必要な室内調査（遺物の図化）の基本技術を学ぶ。	履修制限あり 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	担当教員	授業概要	備考
AB83A31	物質資料研究法-c	1	1.0	1・2	春C	集中	前田 修	考古学研究に必要な野外調査の基本技術(地形測量)を学ぶ。屋外で測量機材を用いた作業をする。	履修制限あり 対面
AB83C11	先史学・考古学外書講読I-a	1	1.0	2・3	春AB	金4	谷口 陽子	専門分野の英語書籍、論文を購読し、内容について議論する。要予習。	西暦奇数年度開講。 対面
AB83C21	先史学・考古学外書講読I-b	1	1.0	2・3	秋AB	金4	谷口 陽子	専門分野の英語書籍、論文を購読し、内容について議論する。ピア・レビュー形式。要予習。	西暦奇数年度開講。 対面
AB83C31	先史学・考古学外書講読II-a	1	1.0	2・3				専門分野の英語書籍、論文を購読し、内容について議論する。ピア・レビュー形式。要予習。	西暦偶数年度開講。 実務経験教員。対面 授業形態は状況に応じて変更する可能性がある
AB83C41	先史学・考古学外書講読II-b	1	1.0	2・3				専門分野の英語書籍、論文を購読し、内容について議論する。ピア・レビュー形式。要予習。	西暦偶数年度開講。 実務経験教員。対面 授業形態は状況に応じて変更する可能性がある
AB83E11	考古学方法論I-a	1	1.0	2・3	春AB	金2	谷口 陽子	考古学研究に用いられる自然科学的な方法論を解説する。出土遺物の材質や製作技法、および年代、産地を探るための自然科学的な研究手法や、民族学的な比較研究方法などを、具体的な事例を基に理解を深める。	西暦奇数年度開講。 実務経験教員。対面
AB83E21	考古学方法論I-b	1	1.0	2・3	秋AB	金2	谷口 陽子	先史時代から利用されている物質を、製作技法・材料の点から解説する。	西暦奇数年度開講。 実務経験教員。対面
AB83E31	考古学方法論II-a	1	1.0	2・3				考古民族的な調査法や考古学によって明らかにされたつづめる物質生産の歴史と技術を解説する。	西暦偶数年度開講。 実務経験教員。対面
AB83E41	考古学方法論II-b	1	1.0	2・3				彩色を持つ文化遺産を中心に、古典技法書と考古遺物の化学分析による結果に触れながら考古学的な解釈を行う。	西暦偶数年度開講。 実務経験教員。対面
AB83F12	先史学・考古学演習I-a	2	1.0	2・3	春AB	火3	三宅 裕, 滝沢 誠, 谷口 陽子, 前田 修, 板橋 悠	先史学、考古学に関する研究テーマを各自で探求し、それを深化させることを目標に、ゼミ形式で演習を行う。	2025年度より3年おきに開講。 対面
AB83F22	先史学・考古学演習I-b	2	1.0	2・3	秋AB	火3	三宅 裕, 滝沢 誠, 谷口 陽子, 前田 修, 板橋 悠	先史学、考古学に関する研究テーマを各自で探求し、それを深化させることを目標に、ゼミ形式で演習を行う。	2025年度より3年おきに開講。 対面
AB83F32	先史学・考古学演習I-c	2	1.0	2・3	春C秋C	火3	三宅 裕, 滝沢 誠, 谷口 陽子, 前田 修, 板橋 悠	先史学、考古学に関する研究テーマを各自で探求し、それを深化させることを目標に、ゼミ形式で演習を行う。	2025年度より3年おきに開講。 対面
AB83F42	先史学・考古学演習II-a	2	1.0	2・3				先史学、考古学に関する研究テーマを各自で探求し、それを深化させることを目標に、ゼミ形式で演習を行う。	2022年度より3年おきに開講。 対面
AB83F52	先史学・考古学演習II-b	2	1.0	2・3				先史学、考古学に関する研究テーマを各自で探求し、それを深化させることを目標に、ゼミ形式で演習を行う。	2022年度より3年おきに開講。 対面
AB83F62	先史学・考古学演習II-c	2	1.0	2・3				先史学、考古学に関する研究テーマを各自で探求し、それを深化させることを目標に、ゼミ形式で演習を行う。	2022年度より3年おきに開講。 対面
AB83G12	先史学・考古学演習III-a	2	1.0	2・3				先史学、考古学に関する研究テーマを各自で探求し、それを深化させることを目標に、ゼミ形式で演習を行う。	2023年度より3年おきに開講。 対面
AB83G22	先史学・考古学演習III-b	2	1.0	2・3				先史学、考古学に関する研究テーマを各自で探求し、それを深化させることを目標に、ゼミ形式で演習を行う。	2023年度より3年おきに開講。 対面
AB83G32	先史学・考古学演習III-c	2	1.0	2・3				先史学、考古学に関する研究テーマを各自で探求し、それを深化させることを目標に、ゼミ形式で演習を行う。	2023年度より3年おきに開講。 対面
AB83G42	先史学・考古学演習IV-a	2	1.0	2・3				先史学、考古学に関する研究テーマを各自で探求し、それを深化させることを目標に、ゼミ形式で演習を行う。	2024年度より3年おきに開講。
AB83G52	先史学・考古学演習IV-b	2	1.0	2・3				先史学、考古学に関する研究テーマを各自で探求し、それを深化させることを目標に、ゼミ形式で演習を行う。	2024年度より3年おきに開講。 対面
AB83G62	先史学・考古学演習IV-c	2	1.0	2・3				先史学、考古学に関する研究テーマを各自で探求し、それを深化させることを目標に、ゼミ形式で演習を行う。	2024年度より3年おきに開講。 対面
AB83K12	先史学・考古学研究-a	2	2.0	4	春ABC	水2	三宅 裕, 滝沢 誠, 谷口 陽子, 前田 修, 板橋 悠	先史学、考古学に関する卒業論文の指導を行う。	対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	担当教員	授業概要	備考
AB83K22	先史学・考古学研究-b	2	2.0	4	秋ABC	水2	三宅 裕, 滝沢 誠, 谷口 陽子, 前田 修, 板橋 悠	先史学、考古学に関する卒業論文の指導を行う。	対面
AB83K32	先史学・考古学研究-b	2	2.0	4	春ABC	応談	三宅 裕, 滝沢 誠, 谷口 陽子, 前田 修, 板橋 悠	先史学、考古学に関する卒業論文の指導を行う。	春学期末(9月末)卒業予定者用の科目であるため、通常の秋学期末(3月末)卒業予定者は履修しないこと。対面履修登録方法については別途周知予定。
AB83K38	卒業論文(先史学・考古学)	8	6.0	4	秋ABC	随時	三宅 裕, 滝沢 誠, 谷口 陽子, 前田 修, 板橋 悠	先史学・考古学に関する卒業論文。	
AB83K48	卒業論文(先史学・考古学)	8	6.0	4	春ABC	随時	三宅 裕, 滝沢 誠, 谷口 陽子, 前田 修, 板橋 悠	先史学・考古学に関する卒業論文。	春学期末(9月末)卒業予定者用の科目であるため、秋学期末(3月末)卒業予定者は履修しないこと。履修登録方法については別途周知予定。

考古学・民俗学(民俗学・文化人類学)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	担当教員	授業概要	備考
AB84A11	民俗学特講-a	1	1.0	2-4	春AB	月5	武井 基晃	民俗学の事例分析を通して、調査の視点・研究の方法の検討を行う。	対面 manabaで通知する
AB84A21	民俗学特講-b	1	1.0	2-4	秋AB	月5	武井 基晃	最新の研究事例を検討し、民俗学の理論的展望を考える。	対面 manabaで通知する
AB84A31	民俗学特講-c	1	1.0	2-4	春C	月4,5	武井 基晃	東アジアの民俗儀礼について講義する	対面 manabaで通知する
AB84B11	民俗史料講義-a	1	1.0	2-4	春AB	木3	武井 基晃	民俗・生活などについて書かれた近世における一般向けの読み物を扱い、民俗学の史料批判のあり方を検討する。	西暦奇数年度開講。 対面
AB84B21	民俗史料講義-b	1	1.0	2-4	秋AB	木3	中野 泰	民俗について書かれた様々な資料を幅広く扱い、民俗学における史料批判のあり方を検討する。	西暦奇数年度開講。 対面
AB84B31	民俗史料講義-c	1	1.0	2-4	秋C	木3,4	武井 基晃	明治時代に刊行された民俗の報告などを中心に、民俗学における史料批判のあり方を検討する。	西暦奇数年度開講。 対面
AB84C12	民俗学研究法-a	2	1.0	3	春AB	金3	中野 泰, 武井 基晃, 徳丸 亜木, 渡部 圭一	民俗学の卒業論文に取り組む人文学類の3年生を対象に課題設定のしかたについて指導を行う。	民俗学で卒業論文を書く人文学類に限る 対面 manabaで通知する
AB84C22	民俗学研究法-b	2	1.0	3	秋AB	金3	中野 泰, 武井 基晃, 徳丸 亜木, 渡部 圭一	民俗学の卒業論文に取り組む人文学類の3年生を対象に調査計画の立てかた、調査成果の報告のしかたや論文作成の指導を行う。	民俗学で卒業論文を書く人文学類に限る 対面 manabaで通知する
AB84C32	民俗学研究法-c	2	1.0	3	春C秋C	金3	中野 泰, 武井 基晃, 徳丸 亜木, 渡部 圭一	民俗学の卒業論文に取り組む人文学類の3年生を対象に調査成果の分析のしかたや論文作成の指導を行う。	民俗学で卒業論文を書く人文学類に限る 対面 manabaで通知する
AB84E12	民俗学演習-a	2	1.0	2-4	春AB	月3	武井 基晃	民俗学の最新の論文を検討する。特に論文内の問いと答え、目的と成果を明確に意識して読むことを学ぶ。	人文学類と比較文化学類の学生に限る。 対面 詳細はmanabaで通知
AB84E22	民俗学演習-b	2	1.0	2-4	秋AB	月3	武井 基晃	問い・目的の立て方を軸に論文を読み、構成や事例の提示のしかたなど論文作成の方法を身に付ける。	人文・文化学群の学生に限る。 対面 詳細はmanaba参照
AB84E32	民俗学演習-c	2	1.0	2-4	秋C	月3,4	武井 基晃	民俗学の最新の論文について、特に論文の問いと研究史の連関について学ぶ。	人文学類の学生に限る。 対面
AB84E52	比較民俗学演習-a	2	1.0	2-4	春AB	火3	中野 泰	民俗学における比較の意義を、外国語文献も含めて輪読し、検討する。	人文学類と比較文化学類の学生に限る。 対面
AB84E62	比較民俗学演習-b	2	1.0	2-4	秋AB	火3	中野 泰	民俗学における比較の意義を、テーマ研究発表・ディスカッションを通じて考察する。	人文学類の学生に限る。 対面
AB84E72	比較民俗学演習-c	2	1.0	2-4	春C	火3,4	中野 泰	民俗学における比較の理論的位置づけについて、議論を行い、その位置づけを表現する作法を身に付ける。	人文学類の学生に限る。 対面
AB84F11	民俗学調査法-A	1	1.0	2-4	春BC	水6	中野 泰, 武井 基晃, 徳丸 亜木	民俗学のフィールドワークの調査法について、実際に調査に出るために不可欠な事前指導を行う。人文学類で民俗学を専攻(希望)する学生を対象とし、民俗学の専門基礎科目の履修が参加資格となる。	人文学類の学生に限る 西暦奇数年度開講。 対面
AB84F21	民俗学調査法-B	1	1.0	2-4				民俗調査のフィールドワークに実際に出ることを想定し、調査法について事前準備を行う。人文学類で民俗学を専攻(希望)する学生を対象とし、民俗学の専門基礎科目の履修が参加資格となる。	人文学類の学生に限る 西暦偶数年度開講。 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	担当教員	授業概要	備考
AB84G15	民俗学実習-A	5	2.0	2-4	秋学期 秋ABC	集中 水6	中野 泰, 武井 基 晃, 徳丸 亜木	フィールドワークを行い調査報告書を執筆する。人文学類で民俗学を専攻(希望)する学生を対象とする。民俗学の専門基礎科目、春学期の民俗学調査法の履修が参加資格となる。	人文学類の学生に限る 西暦奇数年度開講。 含野外調査・対面
AB84G25	民俗学実習-B	5	2.0	2-4				フィールドワークを行い調査報告書を執筆する。人文学類で民俗学を専攻(希望)する学生を対象とする。民俗学の専門基礎科目、春学期の民俗学調査法の履修が参加資格となる。	人文学類の学生に限る 西暦偶数年度開講。 含野外調査・対面
AB85A11	文化人類学講義I-a	1	1.0	2-4	春AB	火2	中村 友香, 木村 周平	人類学はフィールドワークと先行の民族誌と理論の間のインタラクティブな関係から生まれる。フィールドワークで得られたデータをどの記述概念を使って記述して、どの分析概念を使って考察するのかは、極めて重要だ。民族誌を批判的に使いながら、人類学における概念の役割について考察する。	西暦奇数年度開講。 対面
AB85A21	文化人類学講義I-b	1	1.0	2-4	秋AB	火2	中村 友香, 木村 周平	人類学はフィールドワークと先行の民族誌と理論の間のインタラクティブな関係から生まれる。フィールドワークに基づく事例や民族誌に触れながら、その事象がどのような概念をもって分析されてきたのかについて探求を行う。	西暦奇数年度開講。 対面
AB85A31	文化人類学講義II-a	1	1.0	2-4				本講義では、病いや医療・治療に関する人類学的研究を紹介する。もっとも身近なものひとつである自らの身体を人類学はどのように扱い、どのように論じてきたのかを学ぶ。	西暦偶数年度開講。
AB85A41	文化人類学講義II-b	1	1.0	2-4				本講義では、身体と環境についての人類学的議論をとりあつかう。	西暦偶数年度開講。 対面
AB85E12	文化人類学演習I-a	2	1.0	2-4	春AB	火1	中村 友香	人類学の様々な民族誌を取り上げて、問題の立て方、記述の方法、根拠として使われたデータ、分析概念、導かれた答えについて批判的に検討を加え、民族誌の読み方と書き方について理解を深める。	西暦奇数年度開講。 対面
AB85E22	文化人類学演習I-b	2	1.0	2-4	秋AB	火1	中村 友香	民族誌的著作および文化人類学の論文の読解を通して、問いの立て方、調査手法、学術的な記述法について学ぶ。	西暦奇数年度開講。 対面
AB85E32	文化人類学演習II-a	2	1.0	2-4				民族誌的著作もしくは文化人類学の論文の読解を通して、問いの立て方、調査手法、学術的な記述法について学ぶ。特に、身体に関するテーマを中心とする。	西暦偶数年度開講。 対面
AB85E42	文化人類学演習II-b	2	1.0	2-4				民族誌的著作もしくは文化人類学の論文の読解を通して、問いの立て方、調査手法、学術的な記述法について学ぶ。特に、環境に関するテーマを中心とする。	西暦偶数年度開講。 対面
AB85F11	文化人類学調査法-A	1	1.0	2-4	春AB	水6	中村 友香, 佐本 英規	人類学における調査を実践しながら学び、様々な調査方法の応用可能性と限界について考察する。人文学類で文化人類学を専攻(希望)するものに限り、事前に文化人類学の専門基礎科目を履修しておくこと。	人文学類の学生に限る 西暦奇数年度開講。 対面
AB85F21	文化人類学調査法-B	1	1.0	2-4				人類学における調査を実践しながら学び、様々な調査方法の応用可能性と限界について考察する。人文学類で文化人類学を専攻(希望)するものに限り、事前に文化人類学の専門基礎科目を履修しておくこと。	人文学類の学生に限る 西暦偶数年度開講。
AB85G15	文化人類学実習-A	5	2.0	2-4	秋学期 秋ABC	集中 水6	中村 友香, 佐本 英規	フィールドワークの研究計画書を準備した後、5日~6日程度のフィールドワークを集中的に行う。その後、民族誌を執筆して発表する。人文学類で文化人類学を専攻(希望)するものに限る。春学期に文化人類学調査法を履修しておくこと。	人文学類の学生に限る 西暦奇数年度開講。 含野外調査・対面
AB85G25	文化人類学実習-B	5	2.0	2-4				フィールドワークの研究計画書を準備した後、5日~6日程度のフィールドワークを集中的に行う。その後、民族誌を執筆して発表する。人文学類で文化人類学を専攻(希望)するものに限る。春学期に文化人類学調査法を履修しておくこと。	人文学類の学生に限る 西暦偶数年度開講。 含野外調査・対面
AB86K12	民俗学・文化人類学研究-a	2	2.0	4	春ABC	応談	徳丸 亜木, 中野 泰, 武井 基晃, 中 村 友香		詳細後日周知。対面
AB86K22	民俗学・文化人類学研究-b	2	2.0	4	秋ABC	応談	徳丸 亜木, 中野 泰, 武井 基晃, 中 村 友香		対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	担当教員	授業概要	備考
AB86K38	卒業論文(民俗学・文化人類学)		8	6.0	4	秋ABC	随時	徳丸 亜木, 中野 泰, 武井 基晃, 中村 友香	

言語学(専門基礎科目)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	担当教員	授業概要	備考
AB90A11	言語学概論-a	1	1.0	1	春AB	木3	宮川 創, 堤 智昭, 山岡 翔	言語学の各分野および人文情報学について概観することで、言語を分析するための基礎について学ぶ。	★2018年度以前入学者の人文・文化学群コアカリキュラム(人文学類生は学群コアカリキュラムとしては履修できない) 対面 状況によってはオンラインに変更する可能性があります。
AB90A21	言語学概論-b	1	1.0	1	秋AB	木3	宮川 創, 堤 智昭, 山岡 翔	言語学の各分野および人文情報学について概観することで、言語を分析するための基礎について学ぶ。	対面 状況によってはオンラインに変更する可能性があります。
AB90A31	音声学概論	1	1.0	1	春AB	木4	黄 賢暲	This course provides an introduction to the study of human speech sounds. Various aspects of speech production and perception will be discussed, involving articulatory apparatus, phonetic transcription, and basic acoustics of speech.	英語で授業。 オンライン(同時双方向型)
AB90A51	音声学概論-b	1	1.0	1	春C	集中	黄 賢暲	This course focuses on the acoustic nature of speech, with special attention to the source-filter theory and the relation between airflow and turbulence.	英語で授業。 オンライン(同時双方向型)
AB90A61	音声学概論-c	1	1.0	2-4	秋C	集中	黄 賢暲	Beyond segments, this course covers suprasegmentals of speech sounds and their acoustic correlates. Perceptual aspects of prosody will be also addressed.	英語で授業。 オンライン(同時双方向型)
AB90B11	応用言語学概論-a	1	1.0	1・2	春AB	火6	平井 明代, 高木 智世, 小野 雄一, 小泉 利恵, 田川 拓海, 土方 裕子, 柳沢 明文	応用言語学全般にわたり概説する。	オンライン(オンデマンド型), オンライン(同時双方向型)
AB90B21	応用言語学概論-b	1	1.0	1・2	秋AB	火6	平井 明代, 高木 智世, 小野 雄一, 小泉 利恵, 田川 拓海, 土方 裕子, 柳沢 明文	応用言語学全般にわたり概説する。	オンライン(オンデマンド型), オンライン(同時双方向型)
AB90C11	日本語学概論-a	1	1.0	1・2	春AB	木6	橋本 修	日本語の、主として社会的な側面について解説する。日本語に関する社会調査の例についても一部取り扱う。	G科目, オンライン(オンデマンド型)
AB90C21	日本語学概論-b	1	1.0	1・2	秋AB	木6	菅野 倫匡	主に現代日本語を題材として語彙論・文法論に関わる事項を取り上げながら日本語を観察したり分析したりする方法について解説する。	G科目, オンライン(オンデマンド型), オンライン(同時双方向型)
AB90E11	中国語学概論	1	1.0	1・2	秋AB	木5	佐々木 勲人	中国語の基礎知識を身につけるとともに、中国語学の研究方法について学ぶ。	対面
AB90F11	英語学概論-a	1	1.0	1・2	春AB	火5	和田 尚明	ことばの一定の形式(音調・強勢も含む)に対して意味がどのような規則性で対応するかという問題について、文法化などの通時変化も考慮しながら検討する。特に、高校までに習った英文法の知識をもとに扱える現象を中心に概観し、英語の意味理解を深めるとともに、意味研究の面白さを伝える。	履修制限を設けることがある。 オンライン(オンデマンド型), オンライン(同時双方向型) オンライン(同時双方向型)で授業を行うが、録画を視聴することでの受講(オンデマンド型)も可。
AB90F21	英語学概論-b	1	1.0	1・2	秋AB	火5	山村 崇斗	英語の統語的特性および形態的特性を、日本語や古い英語と対比させながら概観し、形式が語順などの統語面や形態などの語彙面にどのように反映されているかについて考える。また、英語の方言や多様性、他言語との接触についても検討し、国際共通語としての姿を理解する。	履修制限を設けることがある。★2018年度以前入学者の人文・文化学群コアカリキュラム(人文学類生は学群コアカリキュラムとしては履修できない) オンライン(オンデマンド型)
AB90G11	仏語学概論	1	1.0	1・2	秋AB	金3	ジャクタ ブルノ ダニエル フィリップ	フランス語の特徴をふまえながら、フランス語学について概説する。	対面
AB90H11	独語学概論	1	1.0	1・2	春AB	金5	大矢 俊明	ドイツ語・ゲルマン語に関心のある者を対象にドイツ語学を学び、研究するための基本的知識・概念について講義し、ドイツ語の特徴を明らかにする。	CEGLOG開設の「ドイツ語基礎」を履修していなくても受講できる。 オンライン(オンデマンド型)

言語学(一般言語学)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	担当教員	授業概要	備考
AB91A11	実験音声学	1	1.0	2・3	春AB	木5	黄 賢暲	This course provides training in designing and running a basic phonetic experiment, analyzing quantitative speech data and interpreting the results.	英語で授業。 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	担当教員	授業概要	備考
AB91A21	実験言語学	1	1.0	2・3	春C	集中	黄賢暲	This course introduces a range of experimental research across different domains in linguistics, and provide the basics of experimental approaches. Students are expected to be able to make empirical observations for theoretical generalizations.	英語で授業。 対面
AB91A31	記述言語学	1	1.0	2・3	春AB	火4	山岡 翔	未知の言語のデータを収集し、その言語体系を発見するための方法を身につける。	西暦奇数年度開講。 対面 場合によりオンライン
AB91A51	歴史言語学	1	1.0	2・3				さまざまな言語を例に、音法則と失われた言語を復元する方法を学ぶ。	西暦偶数年度開講。 オンライン(同時双方向型) 状況によっては対面に 変更する可能性があります。
AB91A71	実験言語・音声学	1	1.0	2・3	秋C	集中	黄賢暲	This course provides advanced analytic skills including Praat scripting and statistical analyses. Each student will carry out a research project in experimental phonetics/linguistics.	英語で授業。 対面
AB91B12	一般言語学演習I-a	2	1.0	2-4	春AB	火2	山岡 翔	ベトナム語に関する文法書を読み解くことを通じて、言語学の諸分野ならびに東南アジアの言語の様相について考える。	対面 場合によりオンライン
AB91B22	一般言語学演習I-b	2	1.0	2-4	秋AB	火2	山岡 翔	ベトナム語に関する文法書を読み解くことを通じて、言語学の諸分野ならびに東南アジアの言語の様相について考える。	対面 場合によりオンライン
AB91B32	一般言語学演習II-a	2	1.0	2-4	春AB	木4	堤 智昭	受講生の研究について、情報工学をはじめとした異分野の技術・思考手法を交えながら、学生主体の演習形式で論じ合う。これにより、分野横断的に活用可能な問題点を見いだす能力、先行研究を整理・批判する能力、新たな知見を生み出し、それを説得的に伝達する能力を身につける。	対面 状況によってはオンラインに変更する 可能性があります。
AB91B42	一般言語学演習II-b	2	1.0	2-4	秋AB	木5	堤 智昭	受講生の研究について、情報工学をはじめとした異分野の技術・思考手法を交えながら、学生主体の演習形式で論じ合う。これにより、分野横断的に活用可能な問題点を見いだす能力、先行研究を整理・批判する能力、新たな知見を生み出し、それを説得的に伝達する能力を身につける。	対面 状況によってはオンラインに変更する 可能性があります。
AB91C12	一般言語学特殊演習I-a	2	1.0	2-4	春AB	木4	宮川 創	Ancient Egyptian: A Linguistic Introduction (Cambridge University Press) を演習形式で講読する。Historical Linguistics (Edinburgh University Press) および The Ancient Egyptian Language: An Historical Study (Cambridge University Press) を補助教材として、必要に応じて発表や討論時の参考に用いる。古代エジプト語からコプト語まで、5千年に及ぶエジプト語史を通して歴史言語学の諸概念への理解を深める。各回ごとに各章の内容に関する発表をする者を決め、発表の後は、全体で討論を行う。	対面主体ですが、状況 によってオンラインも 併用します。 対面
AB91C22	一般言語学特殊演習I-b	2	1.0	2-4	秋AB	木4	宮川 創	コプト語を含む古代エジプト語の文献を講読し、英語をはじめとする諸外国語で書かれた研究文献を参照しながら、歴史言語学的に古代エジプト語を分析する。	対面主体ですが、状況 によってオンラインも 併用します。 対面
AB91E72	ヘブル語初級-a	2	1.0	1-4	春AB	木3	池田 潤	ヘブル文字を学んだ上で、聖書ヘブル語の基礎を学ぶ。	西暦奇数年度開講。 対面
AB91E82	ヘブル語初級-b	2	1.0	1-4	秋AB	木3	池田 潤	引き続き聖書ヘブル語の文法を学ぶ。	西暦奇数年度開講。 対面
AB91F12	古代エジプト語初級-a	2	1.0	1-4	春AB	金5	宮川 創	ヒエログリフやコプト文字を学んだ上で、古代エジプト語の基礎を学ぶ。	対面
AB91F22	古代エジプト語初級-b	2	1.0	1-4	秋AB	金5	宮川 創	古代エジプト語初級-bに引き続き古代エジプト語の文法を学ぶ。ヒエラティックおよびデモティックも学ぶ。	対面
AB91K12	一般言語学研究-a	2	2.0	4	春学期	随時	池田 潤, 黄賢暲, 宮川 創, 堤 智昭, 山岡 翔, 佐々木 勲人, 大矢 俊明, 住大 恭康, 臼山 利信	卒業研究の構想と資料の収集・分析に関する指導を行う。	
AB91K22	一般言語学研究-b	2	2.0	4	秋学期	随時	池田 潤, 黄賢暲, 宮川 創, 堤 智昭, 山岡 翔, 佐々木 勲人, 大矢 俊明, 住大 恭康, 臼山 利信	卒業論文の書き方に関する指導を行う。	対面
AB91K38	卒業論文(一般言語学)	8	6.0	4	秋ABC	随時	池田 潤, 黄賢暲, 宮川 創, 堤 智昭, 山岡 翔, 佐々木 勲人, 大矢 俊明, 住大 恭康, 臼山 利信	一般言語学に関する卒業論文。	
AB94A12	中国語文法演習-a	2	1.0	2・3	春AB	月4	陳 玥	中国語文法の研究法について、演習形式でその基礎を学ぶ。	担当教員変更の可能性 あり。 西暦奇数年度開講。 対面
AB94A22	中国語文法演習-b	2	1.0	2・3	秋AB	月4	陳 玥	中国語文法の研究法について演習形式で学ぶ。	担当教員変更の可能性 あり。 西暦奇数年度開講。 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	担当教員	授業概要	備考
AB94A32	中国語演習-a	2	1.0	2・3				聴読読写の4技能を高めるための総合的な語学トレーニングをおこなう。	2025年度より2年おきに開講。 2025年度開講せず。 対面
AB94A42	中国語演習-b	2	1.0	2・3				聴読読写の4技能を更に高めるための総合的な語学トレーニングをおこなう。	2025年度より2年おきに開講。 2025年度開講せず。 対面
AB94B12	中国語学演習I-a	2	1.0	3・4	春AB	火2	佐々木 勲人	中国語文法に関する文献を読み進めながら、中国語の特徴について考える。	西暦奇数年度開講。 対面
AB94B22	中国語学演習I-b	2	1.0	3・4	秋AB	火2	佐々木 勲人	中国語文法に関する文献を読み進めながら、中国語の特徴について考える。	西暦奇数年度開講。 対面
AB94B32	中国語学演習II-a	2	1.0	3・4				中国東南方言の基礎的構文を学ぶことを通して、方言文法研究の手法を身につける。	西暦偶数年度開講。 対面 感染状況によっては対面形式に変更する可能性があります。
AB94B42	中国語学演習II-b	2	1.0	3・4				中国東南方言の基礎的構文の分析を通して、方言文法研究の新たなテーマを発掘する能力を身につける。	西暦偶数年度開講。 対面 感染状況によっては対面形式に変更する可能性があります。
AB97B11	ドイツ語学講義I-a	1	1.0	2・3	春AB	月3	住大 恭康	ドイツ語の文法書における記述を参考にしながら、ドイツ語学におけるいくつかのトピックについて講義する。	西暦奇数年度開講。 対面
AB97B21	ドイツ語学講義I-b	1	1.0	2・3	秋AB	月3	住大 恭康	ドイツ語の文法書における記述を参考にしながら、ドイツ語学におけるいくつかのトピックについて講義する。	西暦奇数年度開講。 対面
AB97B31	ドイツ語学講義II-a	1	1.0	2・3				ドイツ語で書かれた言語学に関する文献を精読しながら、「ドイツ語学」に関するアクチュアルなトピックを論じる。	西暦偶数年度開講。
AB97B41	ドイツ語学講義II-b	1	1.0	2・3				「言語学」としてのドイツ語学における基本的概念を習得し、併せて言語を分析する能力を身に付ける。	西暦偶数年度開講。
AB97F12	ドイツ語演習I-a	2	1.0	1-3				中級程度の文法知識の復習をしながら、ドイツ語読解能力を高める。	西暦偶数年度開講。
AB97F22	ドイツ語演習I-b	2	1.0	1-3				中級程度の文法知識をもとにドイツ語読解能力を高める。	西暦偶数年度開講。
AB97F32	ドイツ語演習II-a	2	1.0	2・3	春AB	火3	住大 恭康	中級程度の文法知識を確認しながら、作文能力を高める。	西暦奇数年度開講。 対面
AB97F42	ドイツ語演習II-b	2	1.0	2・3	秋AB	火3	住大 恭康	中級程度の文法的・語彙的な知識をもとに作文能力を高める。	西暦偶数年度開講。 対面
AB97G12	ドイツ語学演習I-a	2	1.0	2・3	春AB	金3	大矢 俊明	基本文献を読みながら、ドイツ語学における重要な概念を修得し、あわせてドイツ語と他言語を比較する「面白さ」に触れる。	西暦奇数年度開講。 対面
AB97G22	ドイツ語学演習I-b	2	1.0	2・3	秋AB	金3	大矢 俊明	基本文献を読みながら、ドイツ語学における重要な概念ならびに方法論を修得する。あわせてドイツ語と他言語を比較し、通言語的に有意義な「一般化」について議論する。	西暦奇数年度開講。 対面
AB97G32	ドイツ語学演習II-a	2	1.0	3・4				ドイツ語の文法と意味に関する論文を講読しながら、既存の考え方を批判的に検討する。	西暦偶数年度開講。
AB97G42	ドイツ語学演習II-b	2	1.0	3・4				ドイツ語における文法と意味の関係を扱った論文を講読しながら、既存の研究を批判的に検討する。	西暦偶数年度開講。
AB98A11	露語文法論-a	1	1.0	2				ロシア語文法に関する主要事項の全体的把握を目指す。ここでは、単数形と複数形、名詞・形容詞変化と動詞変化等について丁寧に解説する。	原則として1年以上のロシア語学習歴があることを本科目の履修条件とする。 2024年度より3年おきに開講。
AB98A21	露語文法論-b	1	1.0	2				ロシア語文法に関する主要事項の全体的把握を目指す。ここでは、動詞の体と時制、無人称文と不定人称文等について丁寧に解説する。	原則として1年以上のロシア語学習歴があることを本科目の履修条件とする。 2024年度より3年おきに開講。
AB98A31	露語音声学・音韻論-a	1	1.0	2・3				ロシア語音声資料を適宜用いながら、概括的な内容を含むロシア語の関連文献を丁寧に読み、ロシア語の音声に関する研究のあり方を整理・検討する。	2024年度より3年おきに開講。
AB98A41	露語音声学・音韻論-b	1	1.0	2・3				ロシア語音声資料を適宜用いながら、概括的な内容を含むロシア語の関連文献を丁寧に読み、ロシア語の音声に関する研究のあり方を整理・検討する。	2024年度より3年おきに開講。
AB98A61	露語音声学・音韻論-c	1	1.0	2・3					2024年度より3年おきに開講。
AB98A71	露語学特講-a	1	1.0	2-4				ロシア語学に関するトピックを取り上げ、ロシア語の構造と機能の特性などについて検討する。	原則として、平成30年度入学者以前の学生を対象とする。 2024年度より3年おきに開講。
AB98A81	露語学特講-b	1	1.0	2-4				ロシア語学に関するトピックを取り上げ、ロシア語の構造と機能の特性などについて検討する。	原則として、平成30年度入学者以前の学生を対象とする。 2024年度より3年おきに開講。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	担当教員	授業概要	備考
AB98A91	露語学特講-c	1	1.0	2-4				ロシア語学に関するトピックを取り上げ、ロシア語の構造と機能の特性などについて検討する	原則として、平成30年度入学者以前の学生を対象とする。 2024年度より3年おきに開講。
AB98B11	ロシア言語文化特講-a	1	1.0	2-4				ロシアの言語文化を知るために、ロシア語のテキストを講読して授業を進める。深く精確な読解に必要な文法の基礎力を訓練する。内容に関わる、歴史的文化的な知識については十分説明を加え、背景や国民性についてある程度まとまった理解を涵養する。	西暦偶数年度開講。
AB98B21	ロシア言語文化特講-b	1	1.0	2-4				ロシアの言語文化を知るために、ロシア語のテキストを講読して授業を進める。深く精確な読解に必要な文法の基礎力を訓練する。内容に関わる、歴史的文化的な知識については十分説明を加え、背景や国民性についてある程度まとまった理解を涵養する。	西暦偶数年度開講。
AB98C01	スラヴの言語と文化-b	1	1.0	3-4				スラヴ諸語の中から1言語を取り上げ、その言語構造の基礎と文化を学ぶ。	原則として、平成30年度入学者以前の学生を対象とする。 2024年度より3年おきに開講。
AB98E31	スラヴの言語と文化-a	1	1.0	3-4				スラヴ諸語の中から1言語を取り上げ、その言語構造の基礎と文化を学ぶ。	原則として、平成30年度入学者以前の学生を対象とする。 2024年度より3年おきに開講。
AB98F42	ロシア語演習I-a	2	1.0	1-2	春AB	木4	アフアナシエヴァ ナターリア、加藤百合	平易なロシア語のテキストを読み、ロシア語で内容全体について要約したり、内容の一部について細かく説明したりする訓練を行う。	ロシア語で授業。 対面(オンライン併用型)
AB98F52	ロシア語演習I-b	2	1.0	1-2	秋AB	木4	アフアナシエヴァ ナターリア、加藤百合	平易なロシア語のテキストを読み、ロシア語で内容全体について要約したり、内容の一部について細かく説明したりする訓練を行う。ロシア語演習I-aとは異なるテキストを使用する。	ロシア語で授業。 対面(オンライン併用型)
AB98G42	露語会話作文演習-a	2	1.0	3-4	春AB	木3	アフアナシエヴァ ナターリア、加藤百合	基本文法と基本語彙の復習をしながら、さらなるコミュニケーション能力の向上を目指す。ここでは日常生活に役立つ表現を学ぶ。	ロシア語で授業。 対面(オンライン併用型)
AB98G52	露語会話作文演習-b	2	1.0	3-4	秋AB	木3	アフアナシエヴァ ナターリア、加藤百合	基本文法と基本語彙の復習をしながら、さらなるコミュニケーション能力の向上を目指す。ここでは討論に役立つ表現を学ぶ。	ロシア語で授業。 対面(オンライン併用型)
AB98G72	ロシア語演習II-a	2	1.0	1-2	春AB	火6	加藤 百合	ロシア文学講読。	西暦奇数年度開講。 対面(オンライン併用型)
AB98G82	ロシア語演習II-b	2	1.0	1-2	秋AB	火6	加藤 百合	ロシア文学史講読。	西暦奇数年度開講。 対面(オンライン併用型)

言語学(応用言語学)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	担当教員	授業概要	備考
AB92A11	応用言語学講義I-a	1	1.0	1-2	春AB	金4	土方 裕子	第二言語としての英語リーディングに焦点をあて、リーディングとはどのような過程であるか、何が原因で読むことが困難になるのかについて概観する。	西暦奇数年度開講。 対面
AB92A21	応用言語学講義I-b	1	1.0	1-2	秋AB	金4	土方 裕子	第二言語としての英語リーディングに関する知見を深め、リーディングの効果的な指導法や、リーディングと他技能との統合タスクについて検討する。	西暦奇数年度開講。 対面
AB92A31	応用言語学講義II-a	1	1.0	1-2	春AB	金6	小泉 利恵	外国語としての英語の指導・習得を中心に、第二言語習得・学習の研究について、議論や発表を通して理解を深める。特に、スピーキングの学習に焦点を当て、「効果的な学習方法」について研究を概観する。	対面
AB92A41	応用言語学講義II-b	1	1.0	1-2	秋AB	金6	小泉 利恵	外国語としての英語の評価を中心に、第二言語の評価の研究について、議論や発表を通して理解を深める。特に、スピーキングの評価に焦点を当て、研究事例や手法を学ぶことを通じて、研究知見についての理解を深める。	対面
AB92A51	応用言語学講義III-a	1	1.0	1-2	春AB	水3	高木 智世	社会言語学の視点やこれまでの重要な発見を、身近な言語現象を交えながら概観する。III-aでは、言語の多様な姿について理解を深めることを焦点とする。	対面
AB92A61	応用言語学講義III-b	1	1.0	1-2	秋AB	水3	高木 智世	社会言語学の視点やこれまでの重要な発見を、身近な言語現象を交えながら概観する。III-bでは、言語使用に関わる原理についての諸理論と実際の言語使用を分析するアプローチについて学ぶ。	応用言語学講義III-bの履修は、応用言語学講義III-aを履修済みであることを条件とする。 対面
AB92A71	応用言語学講義IV-a	1	1.0	1-2				現代日本語の文章を中心に、文章の振る舞い・特徴を言語学的に究明する基盤となる「文体」「話しことば」「書きことば」「結束性」について基本的な概念と言語現象の整理を行うとともに、言語研究における理論・モデルについての基本的な知識を身に付ける。	西暦偶数年度開講。 対面
AB92A81	応用言語学講義IV-b	1	1.0	1-2				現代日本語の文章を中心に、文章の振る舞い・特徴を言語学的に究明する手がかりとなる「文体」「話しことば」「書きことば」「結束性」の観点から実際の言語現象の分析・検討を行う。	西暦偶数年度開講。 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	担当教員	授業概要	備考
AB92B12	外書講読I-a	2	1.0	1-3	春AB	金5	小野 雄一	英語で書かれた応用言語学研究の方法論に関するテキストを講読する。テキストに書かれた英語の特徴に注意を払いつつ、応用言語学分野の研究法を理解できるようにする。	西暦奇数年度開講。 対面
AB92B22	外書講読I-b	2	1.0	1-3	秋AB	金5	小野 雄一	英語で書かれた応用言語学研究の方法論に関する文献を講読する。テキストに書かれた英語の特徴に注意を払いつつ、応用言語学の研究手法について理解を深める。	西暦偶数年度開講。 対面
AB92B32	外書講読II-a	2	1.0	1-3				英語で書かれた応用言語学に関する基礎文献の講読を行う。文法、語法などに注意を払いつつ、応用言語学に関する基礎知識の習得に努める。本授業では、言語使用の基礎となる言語理論に関する論文を講読する。	西暦偶数年度開講。 対面
AB92B42	外書講読II-b	2	1.0	1-3				英語で書かれた応用言語学に関する基礎文献の講読を行う。文法、語法などに注意を払いつつ、応用言語学に関する基礎知識の習得に努める。本授業では、第二言語習得理論の基礎を扱っている論文を講読する。	西暦偶数年度開講。 対面
AB92C12	応用言語学演習I-a	2	1.0	2-3				各自の文献研究とミニリサーチを通じて、英語教育の中でも特にリーディングの分野で用いられる研究手法を修得する。	西暦偶数年度開講。 対面
AB92C22	応用言語学演習I-b	2	1.0	2-3				各自の文献研究とミニリサーチを通じて、文処理研究の分野で用いられる研究手法を修得する。	西暦偶数年度開講。 対面
AB92C32	応用言語学演習II-a	2	1.0	2-3	春AB	木5	柳沢 明文	外国語としての英語の語彙指導・習得を中心に、第二言語習得・学習の研究について、各自の問題意識を基に、先行研究を中心とした、基礎的なミニリサーチを行う。	対面
AB92C42	応用言語学演習II-b	2	1.0	2-3	秋AB	木5	柳沢 明文	外国語としての英語の語彙指導・習得を中心に、第二言語習得・学習の研究について、各自の問題意識を基に、発展的なミニリサーチを行う。	対面
AB92C52	応用言語学演習III-a	2	1.0	2-3				会話分析の基本的分析概念を理解し、日常的相互行為を精緻に観察・分析する能力を養う。	西暦偶数年度開講。 対面
AB92C62	応用言語学演習III-b	2	1.0	2-3				応用言語学演習III-aで学んだ分析手法を用いて、実際の相互行為場面を分析し、会話分析的視点から一定の知見を引き出すことを試みる。	応用言語学演習III-aを履修済みであることを履修要件とする。 西暦偶数年度開講。 対面
AB92C72	応用言語学演習IV-a	2	1.0	2-3	春AB	金3	田川 拓海	現代日本語の文章を研究する上で重要な言語現象および理論・モデルについて、文献を批判的に検討する作業を通して基本的な知識を身に付ける。	西暦奇数年度開講。 対面
AB92C82	応用言語学演習IV-b	2	1.0	2-3	秋AB	金3	田川 拓海	文献調査によって、現代日本語の文章研究において何が研究課題になるのかを考える。さらに演習を通して、それらの研究課題について自ら現象の記述と分析を行う能力を身に付ける。	西暦奇数年度開講。 対面
AB92F11	応用言語学特講I-a	1	1.0	3-4	春AB	月3	平井 明代	英語を指導するにあたり必要な言語的知識を再確認することを目指す。また、その知識を踏まえて、どのように授業を展開していくか、その指導法と評価方法を学ぶ。	対面
AB92F21	応用言語学特講I-b	1	1.0	3-4	秋AB	月3	平井 明代	英語を指導するにあたり必要な言語的知識と第2言語習得理論を踏まえて、スピーキングおよびライティングのパフォーマンス指導と評価に関する理論を学び、実践を行う。	対面
AB92F31	応用言語学特講II-a	1	1.0	3-4	春AB	火5	高木 智世	近年、言語と身体性の関係を追究する学問は目覚ましい発展を遂げている。本講義では、「相互行為と身体」のトピックに関わる近年の代表的な研究に触れて基本的な知識を身に付け、相互行為と言語資源、身体資源の関係について考察する。	西暦奇数年度開講。 対面(オンライン併用型)
AB92F41	応用言語学特講II-b	1	1.0	3-4	秋AB	火5	高木 智世	応用言語学特講II-aで学んだことを踏まえ、実際の具体的な相互行為データ(ビデオデータ)について、言語資源と身体資源がどのように相互行為の組織に関わっているかを正確に観察・分析・考察する力を身につける。	応用言語学特講II-bの履修は、応用言語学特講II-aを履修済みであることを条件とする。 西暦奇数年度開講。 対面(オンライン併用型)
AB92K12	応用言語学研究-a	2	2.0	4	春ABC	随時	平井 明代, 高木 智世, 小野 雄一, 小泉 利恵, 田川 拓海, 土方 裕子, 柳沢 明文	卒業論文に関する研究指導を行う。(日程は別途掲示する。)	対面
AB92K22	応用言語学研究-b	2	2.0	4	秋ABC	随時	平井 明代, 高木 智世, 小野 雄一, 小泉 利恵, 田川 拓海, 土方 裕子, 柳沢 明文	卒業論文に関する研究指導を行う。(日程は別途掲示する。)	対面
AB92K38	卒業論文(応用言語学)	8	6.0	4	秋ABC	随時	平井 明代, 高木 智世, 小野 雄一, 小泉 利恵, 田川 拓海, 土方 裕子, 柳沢 明文	応用言語学に関する卒業論文。	対面

言語学(日本語学)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	担当教員	授業概要	備考
AB93A11	日本語音韻論-a	1	1.0	2-4	春AB	月3	那須 昭夫	現代日本語の音声・音韻の特徴について、子音・母音・拍体系の各側面にわたり解説する。	対面(オンライン併用型)
AB93A21	日本語音韻論-b	1	1.0	2-4	秋AB	月3	那須 昭夫	日本語音韻の史的変遷について解説する。古代語(上代・中古)および中世語を扱う。	対面(オンライン併用型)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	担当教員	授業概要	備考
AB93A41	日本語文法論-a	1	1.0	2-4	春AB	金4	和氣 愛仁	現代日本語の文法に関する講義。文の基本構造、動詞の項構造とヴォイス、名詞句の機能と文法関係、テンス・アスペクト等のトピックを扱う。	対面
AB93A51	日本語文法論-b	1	1.0	2-4	秋AB	金4	和氣 愛仁	現代日本語の文法に関する講義。文の機能とモダリティ、主題ととりたて、文の階層的な構造、談話とテキスト等のトピックを扱う。	対面
AB93A71	日本語史-a	1	1.0	2-4	春AB	金2	菊池 そのみ	文献資料を読みながら、古典日本語（主に中古語）の文法・語彙について学ぶ。古典日本語と現代日本語との差異を考察する。	G科目 対面（オンライン併用型）
AB93A81	日本語史-b	1	1.0	2-4	秋AB	金2	菊池 そのみ	文献資料を読みながら、日本語の文法・語彙の変遷について学ぶ。日本語史調査の方法についても取り上げる。	G科目 対面（オンライン併用型）
AB93B01	日本語学講読I-a	1	1.0	2-4	春AB	火2	橋本 修	古今和歌集を主要な資料として、平安時代の日本語について情報を得る。また、影印を中心とした一次資料の味方についての基礎的な考え方を習得する。	対面（オンライン併用型）
AB93B11	日本語学講読I-b	1	1.0	2-4	秋AB	火2	橋本 修	古今和歌集本文および、滝澤1986、森山2010他の、古今和歌集を主として日本語学・言語学的な観点から扱った論文を講読する。	G科目 対面（オンライン併用型）
AB93B21	日本語学講読II-a	1	1.0	2-4	春AB	火3	那須 昭夫	アクセント辞典の記述を検討しながら、現代日本語（共通語）アクセントの規則性について理解を深める。	対面（オンライン併用型）
AB93B31	日本語学講読II-b	1	1.0	2-4	秋AB	火3	那須 昭夫	日本語のアクセントの史的変遷について、おもに古代語および中世語のアクセントの特徴を中心に学ぶ。	対面（オンライン併用型）
AB93B41	日本語学講読III-a	1	1.0	2-4	春AB	金3	菊池 そのみ	中古後期の和文資料を読む。中古語の語彙について用例に基づいて考察し、理解を深める。	対面（オンライン併用型）
AB93B51	日本語学講読III-b	1	1.0	2-4	秋AB	金3	菊池 そのみ	中古後期の和文資料を読む。中古語の文法について用例に基づいて考察し、理解を深める。	対面（オンライン併用型）
AB93B61	日本語学講読IV-a	1	1.0	2-4	春AB	月5	菅野 倫匡	日本語を対象とした言語研究を実施するために必要になるコーパス調査やアンケート調査に関わる文献について紹介・検討する。一部、卒業論文等に関わる文献について研究方法に着目した批判的な検討を含む。	対面（オンライン併用型）
AB93B71	日本語学講読IV-b	1	1.0	2-4	秋AB	月5	菅野 倫匡	日本語学やその関連分野の専門事典・辞典を読み、いくつかの術語について紹介・検討する。一部、卒業論文等に関わる先行研究について用語に着目した批判的な検討を含む。	対面（オンライン併用型）
AB93B81	日本語学講読V-a	1	1.0	2-4	春AB	木4	和氣 愛仁	現代日本語の格、ヴォイス、テンス、アスペクト等に関連する主要文献の講読。受講者の発表を中心に、適宜担当教員の講義を交えて進める。	西暦奇数年度開講。対面
AB93B91	日本語学講読V-b	1	1.0	2-4	秋AB	木4	和氣 愛仁	現代日本語のモダリティ、とりたて、複文等に関連する主要文献の講読。受講者の発表を中心に、適宜担当教員の講義を交えて進める。	西暦奇数年度開講。対面
AB93C01	日本語学講読VI-a	1	1.0	2-4				現代日本語の格、ヴォイス、テンス、アスペクト等に関連する主要文献の講読。受講者の発表を中心に、適宜担当教員の講義を交えて進める。	西暦偶数年度開講。対面
AB93C11	日本語学講読VI-b	1	1.0	2-4				現代日本語のモダリティ、とりたて、複文等に関連する主要文献の講読。受講者の発表を中心に、適宜担当教員の講義を交えて進める。	西暦偶数年度開講。対面
AB93E12	日本語学演習I-a	2	1.0	2	春AB	金5	和氣 愛仁	コーパス言語学の基礎に関する演習。正規表現を用いた文字列検索・置換、表計算ソフトによる用例集計・分析を扱う。	対面
AB93E22	日本語学演習I-b	2	1.0	2	秋AB	金5	和氣 愛仁	コーパス言語学のやや応用的な演習。mecabiによる形態素解析、中納言による品詞情報付きコーパス検索、スクリプト言語によるプログラミングを扱う。	対面
AB93E42	日本語学演習II-a	2	1.0	3	春AB	木3	菅野 倫匡	日本語を対象とした研究課題の設定から研究計画の立案に至るまでの一連の手順について特に先行研究の整理や検証に重点を置きながら受講者の個々のテーマに即して検討する。	対面（オンライン併用型）
AB93E52	日本語学演習II-b	2	1.0	3	秋AB	木3	菅野 倫匡	日本語を対象とした研究課題の設定から研究計画の立案に至るまでの一連の手順について特に予備調査を叩き台に分析法や一般化の妥当性を吟味することに重点を置きながら受講者の個々のテーマに即して検討する。	対面（オンライン併用型）
AB93E72	日本語学演習III-a	2	1.0	4	春AB	月6	橋本 修	日本語学、特に日本語史にとって重要な文献資料、先行研究について紹介検討し、言語学・日本語学についての理解を深める。また、研究に際しての参考文献リスト作成、検討等、卒業論文作成への基礎情報についての演習を行うことがある。	対面（オンライン併用型）
AB93E82	日本語学演習III-b	2	1.0	4	秋AB	月6	橋本 修	近年重要とされる日本語学上のトピックについて紹介検討し、学史・理論上の意味付けについて議論する。また、発表演習を行うことにより専門的な内容を他者に理解可能な形で伝え、生産的な形で議論するトレーニングを行う。	対面（オンライン併用型）
AB93K12	日本語学研究-a	2	2.0	4	春ABC	随時	橋本 修, 那須 昭夫, 和氣 愛仁, 菅野 倫匡, 菊池 そのみ	日本語学コースの卒業予定者を対象に、各受講者の課題に沿いながら、卒業論文の作成を視野に入れた研究指導を行う。	対面（オンライン併用型）
AB93K22	日本語学研究-b	2	2.0	4	秋ABC	随時	橋本 修, 那須 昭夫, 和氣 愛仁, 菅野 倫匡, 菊池 そのみ	日本語学コースの卒業予定者を対象に、卒業論文の作成に向けた研究指導を行う。	対面（オンライン併用型）

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	担当教員	授業概要	備考
AB93K38	卒業論文(日本語学)	8	6.0	4	秋ABC	随時	橋本 修, 那須 昭夫, 和氣 愛仁, 菅野 倫匡, 菊池 そのみ	日本語学コースの卒業論文。	

教職課程「国語」の教科に関する科目

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	担当教員	授業概要	備考
AB93J91	漢文学概論	1	1.0	1-4	春AB	火3	荒井 礼	漢文学を理解するために必要な事柄について講義する。	教職「国語」の教科に関する科目 対面

言語学(英語学)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	担当教員	授業概要	備考
AB95A11	英語文法論・統語論(1)-a	1	1.0	1-2	春AB	水3	山村 崇斗	理論言語学(主に生成文法理論)の観点で、体系的で魅力的な文法研究の動向を探る。とりわけ、英語を中心に言語の基本的な構造について考察する。	履修制限を設けることがある。 西暦奇数年度開講。 対面
AB95A21	英語文法論・統語論(1)-b	1	1.0	1-2	秋AB	水3	山村 崇斗	理論言語学(主に生成文法理論)の観点で、体系的で魅力的な文法研究の動向を探る。とりわけ、英語を中心として、言語にみられる要素の依存関係について考察する。	履修制限を設けることがある。 西暦奇数年度開講。 対面
AB95A31	英語文法論・統語論(2)-a	1	1.0	1-2				理論言語学(主に生成文法理論)の観点で、体系的で魅力的な文法研究の動向を探る。とりわけ、英語の基本的な構文について考察する。	履修制限を設けることがある。 西暦偶数年度開講。 対面
AB95A41	英語文法論・統語論(2)-b	1	1.0	1-2				理論言語学(主に生成文法理論)の観点で、体系的で魅力的な文法研究の動向を探る。とりわけ、英語の移動現象について考察する。	履修制限を設けることがある。 西暦偶数年度開講。 対面
AB95A51	英語意味論・語用論(1)-a	1	1.0	2-3				最近の意味論・語用論研究の動向を把握するとともに、具体的な言語現象の検討を通して、言語と意味・認知の関係について考察する。主として時制形式の文法化に焦点をあてる。	履修制限を設けることがある。 西暦偶数年度開講。 対面
AB95A61	英語意味論・語用論(1)-b	1	1.0	2-3				最近の意味論・語用論研究の動向を把握するとともに、具体的な言語現象の検討を通して、言語と意味・認知の関係について考察する。主として多義性の問題に焦点をあてる。	履修制限を設けることがある。 西暦偶数年度開講。 対面
AB95A71	英語意味論・語用論(2)-a	1	1.0	2-3	春AB	木4	宮腰 幸一	身近な英語表現を基にして、意味論・語用論研究の基礎(射程・目標・方法・意義・成果など)を具体的に学ぶ。随所に対応する日本語表現との比較・対照をしながら、日英語の共通点と相違点についても考察する。	履修制限を設けることがある。 西暦奇数年度開講。 対面
AB95A81	英語意味論・語用論(2)-b	1	1.0	2-3	秋AB	月4	金谷 優	最近の意味論・語用論研究の動向を把握するとともに、具体的な言語現象の検討を通して、言語と意味・認知の関係について考察する。	履修制限を設けることがある。 西暦奇数年度開講。 対面
AB95B11	英語音韻論・形態論(1)-a	1	1.0	2-3	春AB	月2	矢澤 翔	英語の音韻論を理解するための基礎として、英語の音声学について学ぶ。	英語の音韻論に関する基本的な概念と理論的な枠組みを広範に学習する。 西暦奇数年度開講。 対面(オンライン併用型)
AB95B21	英語音韻論・形態論(1)-b	1	1.0	2-3	秋AB	月2	矢澤 翔	英語の音韻論に関する基本的な概念と理論的な枠組みを広範に学習する。	英語の音韻論に関する基本的な概念と理論的な枠組みを広範に学習する。 西暦奇数年度開講。 対面(オンライン併用型) 春学期開講「英語音韻論・形態論(1)-a」(もしくは他の音声学関連科目)の先修を前提とする。
AB95B31	英語音韻論・形態論(2)-a	1	1.0	2-3				英語の形態論に関する基本的な概念と理論的な枠組みを広範に学習する。	対面を基本とするが、一部オンデマンドを併用する可能性がある。 西暦偶数年度開講。 対面
AB95B41	英語音韻論・形態論(2)-b	1	1.0	2-3				英語の音韻論と形態論のインターフェースおよびその応用分野について広範に学習する。	対面を基本とするが、一部オンデマンドを併用する可能性がある。 西暦偶数年度開講。 対面 春学期開講「英語音韻論・形態論(2)-a」(もしくは他の形態論関連科目)の先修を前提とする。
AB95C11	英語論文講読(1)-a	1	1.0	1-2	春AB	木3	島田 雅晴	言語学の入門レベルの英文テキストの読解を通して、英語で書かれた学術論文を正確に読む力を養いながら、言語学の基礎知識と科学的研究の方法論を学ぶ。	履修制限を設けることがある。関連する内容を扱うため、秋学期開講の「英語論文講読(1)-b」とセットで履修することが望ましい。 西暦奇数年度開講。 対面 対面を基本とするが、状況次第でオンデマンドになる場合もある。
AB95C21	英語論文講読(1)-b	1	1.0	1-2	秋AB	木3	島田 雅晴	春学期に引き続き、言語学の入門レベルの英文テキストの読解を通して、英語で書かれた学術論文を正確に読む力を養いながら、言語学の基礎知識と科学的研究の方法論を学ぶ。	履修制限を設けることがある。 西暦奇数年度開講。 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	担当教員	授業概要	備考
AB95C31	英語論文講読(2)-a	1	1.0	1・2				英語で書かれた言語学の入門レベルのテキストを正確に読み解く訓練をしながら、言語学の基礎知識と研究の方法論を学ぶ。	履修制限を設けることがある。 西暦偶数年度開講。 対面
AB95C41	英語論文講読(2)-b	1	1.0	1・2				春学期に引き続き、英語で書かれた言語学の入門レベルのテキストを正確に読み解く訓練をしながら、言語学の基礎知識と研究の方法論を学ぶ。	履修制限を設けることがある。 西暦偶数年度開講。 対面
AB95C51	英語論文講読(3)-a	1	1.0	2・3	秋AB	木4	宮腰 幸一	言語学の入門レベルの英文テキストの読解を通して、英語で書かれた学術論文を正確に読む力を養いながら、言語学の基礎知識と科学的研究の方法論を学ぶ。	履修制限を設けることがある。開講学期は開講年度により異なる(令和7年度は秋ABモジュール)。 2025年度より3年おきに開講。 対面
AB95C71	英語論文講読(4)-a	1	1.0	2・3				言語学の入門レベルの英文テキストの読解を通して、英語で書かれた学術論文を正確に読む力を養いながら、言語学の基礎知識と科学的研究の方法論を学ぶ。	履修制限を設けることがある。開講学期は開講年度により異なる(令和6年度は秋学期)。 2024年度より3年おきに開講。 対面
AB95E32	英語学演習(2)-a	2	1.0	2-4				英語で書かれた言語学(主に意味論)のテキストを正確に読み解く訓練をしながら、言語学の基礎知識と研究の方法論を学ぶ。	履修制限を設けることがある。 2023年度より5年おきに開講。 対面
AB95E42	英語学演習(2)-b	2	1.0	2-4				春学期に引き続き、英語で書かれた言語学(主に意味論)のテキストを正確に読み解く訓練をしながら、言語学の基礎知識と研究の方法論を学ぶ。	履修制限を設けることがある。 2023年度より5年おきに開講。 対面
AB95E52	英語学演習(3)-a	2	1.0	2-4				英語の意味・語用論的現象を扱った文献をもとに、英語学的観点から言語現象を観察・分析することを学ぶ。	履修制限を設けることがある。 2024年度より5年おきに開講。 対面
AB95E62	英語学演習(3)-b	2	1.0	2-4				英語で書かれた言語学(主に意味論)のテキストを正確に読み解く訓練をしながら、言語学の基礎知識と研究の方法論を学ぶ。	履修制限を設けることがある。 2024年度より5年おきに開講。 対面
AB95E72	英語学演習(4)-a	2	1.0	2-4	春AB	木2	金谷 優	言語学の入門レベルの英文テキストの読解を通して、英語で書かれた学術論文を正確に読む力を養いながら、言語学の基礎的な知識と研究の方法論を学ぶ。	履修制限を設けることがある。 2025年度より5年おきに開講。 対面
AB95E82	英語学演習(4)-b	2	1.0	2-4	秋AB	木2	金谷 優	春学期に引き続き、言語学の入門レベルの英文テキストの読解を通して、英語で書かれた学術論文を正確に読む力を養いながら、言語学の基礎的な知識と研究の方法論を学ぶ。	履修制限を設けることがある。 2025年度より5年おきに開講。 対面
AB95J12	英語学論文演習-a	2	1.0	3	春AB	月5	和田 尚明	言語学の論文を英語で書くための訓練を行う(基礎編)。	履修制限を設けることがある。 対面
AB95J22	英語学論文演習-b	2	1.0	3	秋AB	月5	和田 尚明	言語学の論文を英語で書くための訓練を行う(応用編)。	履修制限を設けることがある。 対面
AB95K12	英語学研究-a	2	2.0	4	春ABC	随時	山村 崇斗, 島田 雅晴, 和田 尚明, 宮腰 幸一, 金谷 優, 矢澤 翔	英語学の卒業論文を書くための指導を行う(基本編)。	実施日は別に掲示する。 対面
AB95K22	英語学研究-b	2	2.0	4	秋ABC	随時	金谷 優, 島田 雅晴, 和田 尚明, 宮腰 幸一, 山村 崇斗, 矢澤 翔	英語学の卒業論文を書くための指導を行う(実践編)。	実施日は別に掲示する。 対面
AB95K38	卒業論文(英語学)	8	6.0	4	秋ABC	随時	山村 崇斗, 島田 雅晴, 和田 尚明, 宮腰 幸一, 金谷 優, 矢澤 翔	英語学に関する卒業論文。	

言語学(その他)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	担当教員	授業概要	備考
AB99A11	比較・対照言語論I-a	1	1.0	2-4	春C	水2, 木3	島田 雅晴	日本語と英語の対照を中心として、世界の言語の統語、意味、形態などに関する事例研究を見ることにより、比較・対照言語論の基礎を学び、併せて言語の普遍性と個性について考察を行う。	履修制限を設けることがある。 西暦奇数年度開講。 対面(オンライン併用型)
AB99A21	比較・対照言語論I-b	1	1.0	2-4	秋AB	火5	佐々木 勲人, 那須 昭夫	日本語と中国語の特性を「漢字・漢語」という観点から対照し、両言語の異同について考察する。	履修制限を設けることがある。 西暦奇数年度開講。 対面(オンライン併用型)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
AB99A31	比較・対照言語論II-a	1	1.0	2 - 4				言語の比較・対照研究の基礎(研究の射程・目標・方法・成果・意義など)を世界の様々な言語の具体例やいくつかの事例研究を通して体系的に学ぶ。	履修制限を設けることがある。 西暦偶数年度開講。 対面(オンライン併用型)
AB99A41	比較・対照言語論II-b	1	1.0	2 - 4				日本語と英語の身近な例を出発点に、世界の様々な言語の事例研究の概観・検討を通して、比較・対照言語研究の射程・目標・方法・意義・成果などを具体的に学ぶ。	西暦偶数年度開講。 対面